詳説世界史

改訂版

世B310

［著作者］
木村靖二
岸本美緒
小松久男
油井大三郎
青木　康
水島　司
橋場　弦
佐藤次高

［日本史校閲］
五味文彦
鈴木　淳

［編集協力者］
石井栄二
今泉　博

A5判・462頁　予価861円

安定した記述 信頼のおける 教科書の定番

正確かつバランスのとれた構成

1 各時代の全体像をつかむ，各部の概観とまとめ

- 各部の冒頭・末尾の「概観」と「まとめ」で世界史を俯瞰

2 アクティブラーニングなど主体的な学習にも対応

- 各部末尾に「主題学習」を設置
- 「主題学習」には「探究のポイント」や「課題」を設けて学習をサポート

3 充実した内容，記述の刷新 新しい世界の動きを追加！

- 充実した図版，世界史における日本にも考慮した記述
- 現代史部分を刷新

Message

『詳説世界史』代表者メッセージ

木村靖二（きむら　せいじ）
東京大学名誉教授

ソ連・東欧社会主義圏の崩壊後，「歴史の終わり」を唱える論者が注目され，アメリカ合衆国の一人勝ちに見えた状況から，アメリカ帝国論がさかんになったのはつい先日のことでした。しかしその後の世界的変動は，そうした議論を色あせたものにし，未来の方向すら見いだしにくい混沌とした状況がなお続いています。

こうしたなかで，新しい世界史教科書を執筆することは，これまで以上に気を遣いました。しかし，一方ではそれは，執筆陣の強化をはかって，近年進展した研究成果を積極的に記述に取り入れる機会ともなり，やりがいのある挑戦でした。

ヨーロッパ史で，近代前期を近世として独立した時代区分としたこと，アメリカ史関連の記述を刷新したこと，さらに日本史関連部分を日本史専門家に精査してもらうことができたことも，改善と考えています。本書が教育現場で十分に活用されることを願っています。

岸本美緒（きしもと　みお）
お茶の水女子大学名誉教授

世界史教科書においては，諸地域の動きを共時的な連関のもとでとらえると同時に，通時的な流れについてもわかりやすく示す必要があり，そのバランスが苦心のしどころであるといえます。共時的といっても，単に諸地域の交流の事実を詳しく示すというのみならず，それぞれの地域の国家や思想・宗教，社会・経済が，独特の展開をみせながらも，大きくみると共通の人類的課題にとりくむなかで，ゆるやかに重なりあったリズムを形成していることを示したいと考えています。本書では，各部の「概観」「まとめ」で各時代の世界全体の動きを大きく鳥瞰するとともに，今日の私たちの社会との関わりを考えてもらうような設問を付しました。

内陸アジアについて現在の研究動向をふまえて記述の刷新と充実を図ったこと，東南アジアに関して流れをわかりやすくしたこと，日本史関係の記述の内容を現在の研究状況により即したものに改めたことなども改善点です。

『詳説世界史 改訂版』でのおもな改訂箇所（世B304→世B310）

詳しくは弊社ホームページをご覧下さい。

①生徒の理解を助けるために，わかりにくい所には説明を加えました（一部抜粋）。

改訂版の頁	世B304	世B310
29	…**暗黒時代**と呼ばれる混乱した時代…	…**暗黒時代**（初期鉄器時代）と呼ばれる混乱した時代…
58	クシャーナ朝とならんで…	クシャーナ朝は3世紀になると，西はイランのササン朝に奪われ，東は地方勢力の台頭をうけて滅亡した。クシャーナ朝とならんで…
101	❷ イスラーム暦（ヒジュラ暦）……太陰暦である。	❶ イスラーム暦（ヒジュラ暦）……太陰暦である。月の運行に従って定められ，1年は12カ月で354日あるいは355日となる。そのため，太陽暦とは異なって季節とは必ずしも対応せず，たとえば第9月のラマダーン（断食月）が夏場にあたることもある。
128	…**両シチリア王国**を建国した。…	…**両シチリア王国**（ノルマン＝シチリア王国）を建国した。…
218		❶ 1530年代には統治機構の整備もすすみ，1540年代には星室庁裁判所が成立した。
225		❶ 鉄騎隊は，1645年に編制された議会派の軍隊「ニューモデル軍」の中核となった。
275	…中国人移民…	…クーリーと呼ばれた中国人移民…
277	…まねくことになった。	…まねくことになった。中国人移民にたいしては，1882年に流入が禁止された。
372	…発足した❶。	…発足した❶。その本部はニューヨークにおかれた。

②15章3・4節以降，現代史の記述を見直し，新しい世界の動きを追加しました（一部抜粋）。

改訂版の頁	世B304	世B310
400	**ソ連邦の解体**	**ソ連邦の解体と民族紛争**
400		旧ソ連邦の周辺部では民族紛争が発生した。北カフカス地域のチェチェンでは，1994年に独立を求めてロシアとのあいだで内戦が発生した。（旧p.405から移動）
400〜401	…実現し，08年にはプーチンにかわってメドヴェージェフが大統領に就任したが，プーチンは首相となり影響力を残した。2012年プーチンは大統領に再出馬して当選し，大統領職に復帰した。	…実現した。プーチンは大統領の任期満了後，一時首相をつとめたうえで，12年に再度大統領に当選し，「強いロシア」の再建を主張して長期政権となった。2014年にはウクライナ政府がEUやNATO加盟の意向を示すと，クリミアやウクライナ東部のロシア系住民が分離運動をおこし，ロシアはクリミアの併合を強行して，国際的な対立をまねいた。
401〜402	…ユーロが導入された。一方，アメリカ合衆国側は…	…ユーロが導入された。その後，加盟国は東欧にも拡大されたが，東西ヨーロッパ間の経済格差がめだつようになり，11年にはギリシアなど南欧諸国で財政危機が発生した。西欧諸国では，北アフリカや中東からの移民が増大し，加盟各国内での貧富差がめだつようになっている。 一方，アメリカ合衆国は…

目次

年間指導計画例

世界史への扉① 気候変動と私たち人類の生活●4
世界史への扉② 漂流民のみた世界●6
世界史への扉③ 砂糖からみた世界の歴史●8

4月 12

序章 先史の世界 ―― 10

第Ⅰ部

第Ⅰ部概観 ―― 14

第1章 オリエントと地中海世界 ―― 16
1 古代オリエント世界●16
2 ギリシア世界●27
3 ローマ世界●40

第2章 アジア・アメリカの古代文明 ―― 52
1 インドの古典文明●52
2 東南アジアの諸文明●62
3 中国の古典文明●65
4 南北アメリカ文明●75

5月 12

第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ―― 77
1 草原の遊牧民とオアシスの定住民●77
2 北方民族の活動と中国の分裂●81
3 東アジア文化圏の形成●87

第Ⅰ部 まとめ ―― 94

主題学習 Ⅰ
時間軸からみる諸地域世界 ―― 96

6月 17

第Ⅱ部

第Ⅱ部概観 ―― 98

第4章 イスラーム世界の形成と発展 ―― 100
1 イスラーム世界の形成●100
2 イスラーム世界の発展●106
3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化●111
4 イスラーム文明の発展●115

7月 8

第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 ―― 120
1 西ヨーロッパ世界の成立●120
2 東ヨーロッパ世界の成立●132
3 西ヨーロッパ中世世界の変容●137
4 西ヨーロッパの中世文化●150

9月 15

第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 ―― 154
1 トルコ化とイスラーム化の進展●154
2 東アジア諸地域の自立化●157
3 モンゴルの大帝国●165

第Ⅱ部 まとめ ―― 170

主題学習 Ⅱ
空間軸からみる諸地域世界 ―― 174

第Ⅲ部

第Ⅲ部概観 ―― 176

第7章 アジア諸地域の繁栄 ―― 178
1 東アジア世界の動向●178
2 清代の中国と隣接諸地域●187
3 トルコ・イラン世界の展開●192
4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展●197

10月 14

第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 ―― 201
1 ヨーロッパ世界の拡大●201
2 ルネサンス●205
3 宗教改革●209
4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成●213

第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 ―― 223
1 重商主義と啓蒙専制主義●223
2 ヨーロッパ諸国の海外進出●232
3 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会●236

11月 16

第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ―― 241
1 産業革命●241
2 アメリカ独立革命●245
3 フランス革命とナポレオン●248

第11章 欧米における近代国民国家の発展 ―― 256
1 ウィーン体制の成立●256
2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生●263
3 南北アメリカの発展●272
4 19世紀欧米の文化●278

第12章 アジア諸地域の動揺 ―― 283
1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容●283
2 南アジア・東南アジアの植民地化●287
3 東アジアの激動●295

第Ⅲ部 まとめ ―― 302

主題学習 Ⅲ
資料から読みとく歴史の世界 ―― 304

12月 8

第Ⅳ部

第Ⅳ部概観 ―― 306

第13章 帝国主義とアジアの民族運動 ―― 308
1 帝国主義と列強の展開●308
2 世界分割と列強対立●315
3 アジア諸国の改革と民族運動●321

1月 12

第14章 二つの世界大戦 ―― 331
1 第一次世界大戦とロシア革命●331
2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国●338
3 アジア・アフリカ地域の民族運動●346
4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略●356
5 第二次世界大戦●363

2月 14

第15章 冷戦と第三世界の独立
1 戦後世界秩序の形成とアジア諸
●371
2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興●379
3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り●384
4 石油危機と世界経済の再編●394

3月 11

第16章 現在の世界 ―― 398
1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展●398
2 途上国の民主化と独裁政権の動揺●403
3 地域紛争の激化と深刻化する貧困●406
4 現代文明の諸相●410

第Ⅳ部まとめ ―― 415

主題学習 Ⅳ
資料を活用して探究する地球世界の課題 ―― 417

世界史年表 ―― 419
索引 ―― 432

世界の自然・世界の気候区 ―― 表見返し
現代の世界 ―― 裏見返し

合計時数 140

詳しいシラバス案はホームページをご覧下さい。

各部の冒頭に重要な視点や考え方を示した「概観」を設置

現代史部分は地域ごとの流れをわかりやすくし，最近の世界の動きも追加

各部の末尾には部の学習内容を確認できる「まとめ」を設置

各部の末尾には「主題学習」を設け，アクティブラーニングにも対応

【本書の使用上の注意】

暦 …… 西暦を使用し，必要により中国暦・革命暦・ロシア暦などをもちいて説明した。
在位・在任・生没 …… 原則として元首は在位・在任年を，他の人物については生没年を付記した。
外国語の仮名表記 …… 人名および地名は原語に近づけて表記するようにしたが，慣用の定着しているものはこれに従った。
※掲載した史料の出典は，『新訳 世界史史料・名言集』(山川出版社)などによった。

1 各時代の全体像をつかむ，各部の概観とまとめ

各部の「概観」や「まとめ」を活用することによって，世界史の大きな流れと，それぞれの時代の歴史がいかに現在につながるかや，その意義を，より明確にすることができます。

概観
各部の冒頭で，その部を学習するにあたって重要な視点や，ぜひ考えておいてほしいことを「概観」として示しています。

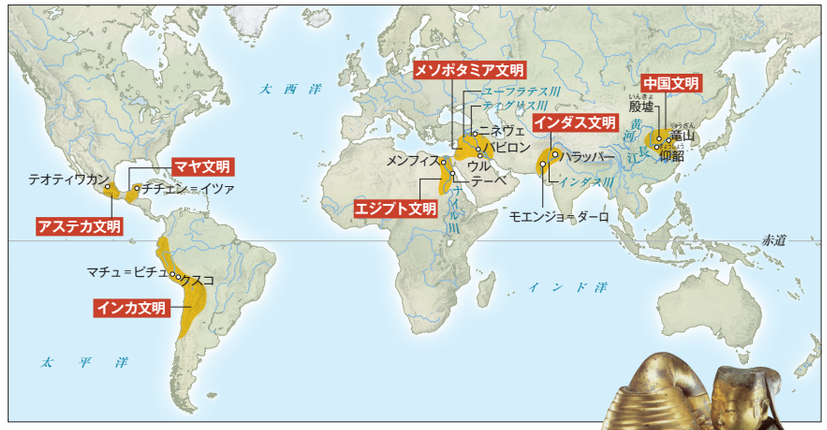
古代ギリシアの皿に描かれた船とブドウの樹
果樹栽培は地中海世界の重要な生産活動であった。船によこたわるのは酒神ディオニュソス。

いくつもの「世界」

今日私たちの住む世界は一つのまとまりをもち，どの地域のどの人々も，たがいに密接な関わりをもちながら生活している。私たちにとって世界とは，地球上に広がるこの一つの世界にほかならない。しかしながら，このような世界の一体化は近代に完成したものであって，長い人類史のなかでは比較的最近のできごとである。では，「一つの世界」がうまれる以前，人類はどのような「世界」に生きていたのであろうか。農耕・牧畜が始まって以来，人々は自然環境に適応しながら，それぞれの地域で独自の世界を形成していた。各地の古代文明をもとに成立した，これらいくつもの「世界」を，地域世界と呼ぶ。それぞれの地域世界では，固有の文化をもつ人々が生活を営み，そのなかから国家がうみ出されていった。彼らにとっては，自分の住む地域世界こそ「世界」であったのである。

自然環境と文明

古代文明はたいてい，大河のほとりに形成されるという共通点をもつが，またそれは，各地域の自然環境に強く影響をうけてうまれたものでもあった。もっともはやくに文明が成立した西アジアのオリエント世界は，雨が少なく乾燥した風土が特徴で，大河の治水・灌漑のために強大な統治権力がうまれた。文化的にオリエント世界の影響をうけた地中海世界は，大河や大平野にめぐまれず，むしろ小さな都市国



おもな古代文明とその遺跡

漢の王墓から出土した金銅製の灯篭
宮廷に仕える女官が灯を捧げもつ形につくられている。前2世紀。

家が文明の担い手となった。他方，南アジアのインド世界や東アジア世界は，モンスーン気候を利用した稲作・麦作農耕を特徴とする。とくに東アジア世界では，はやくから皇帝の絶大な権力を発達させた中国文明が，周辺諸地域をまきこんだ文明圏を形成していった。東南アジア世界や内陸アジア世界も，インド世界・東アジア世界と深い関わりをもちながら，それぞれに自立した地域世界であった。またアメリカ大陸の中部・南部では，主としてトウモロコシやジャガイモが栽培され，独自の都市文明が誕生した。

国家の出現と古代帝国

古代文明における国家は，はじめ都市という形をとって出現し，それらがやがて領域を拡大しあるいは統合して，より大きな国家を形成していく傾向がみられた。そのなかからは，隣接する地域に勢力を広げ，多くの民族と広大な領域を支配する古代帝国が登場した。オリエント世界のアケメネス朝，地中海世界のローマ帝国，インド世界のマウリヤ朝やグプタ朝，東アジア世界の秦・漢・隋・唐，そして南アメリカのインカ帝国などである。こうした古代帝国は，各地域世界の政治・経済・文化を一つにまとめる役割をはたすとともに，宗教とも密接な関係を築きあげた。キリスト教・バラモン教・仏教・儒教といった宗教は，それぞれの古代帝国の統治を支えるうえで重要な役割を担っていった。

まとめ
各部の末尾には学んできたことを確認し，次の部への橋渡しとなる「まとめ」を設け，今日の私たちの社会との関わりを考察する設問を付しました。

第Ⅰ部

まとめ

第Ⅰ部では，文明の発生から地球上の各地にいくつかの地域世界が形成されるまでの過程をみてきた。世界の各地域では，それぞれの自然環境に適応しながら独自の文明が築かれ，国家がうまれた。第Ⅰ部の内容のポイントを振り返ってみよう。

大運河を建設した隋の煬帝
煬帝が民衆を動員して建設した大運河は華北と江南を経済的に結びつけた。

アテネの「僭主暗殺者」像
僭主政打倒に道を開き，市民に自由をもたらした功績をたたえてアゴラにたてられたもの。

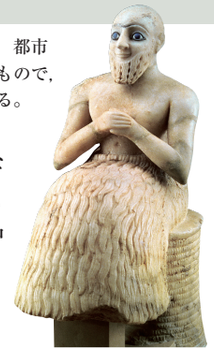
地域世界と文明の成立

人類史において，さまざまな地域世界が成立するきっかけとなった最初のできごとは，農耕・牧畜の始まりであった。人間は自然に働きかけてそれをかえる力を身につけ，それぞれの地域の自然環境に適応して食料を生産するようになった。やがて，オリエント・地中海，南アジア・東南アジア，東アジア・内陸アジアといった諸地域に独自の文明が誕生し，それぞれに地域世界を形成していった。こうして成立した地域世界は，決してたがいに孤立していたわけではなく，交流をつうじて経済的・文化的に影響を与えあっていたのである。

古代国家の成立と発展

古代文明に誕生した最初の国家は，たいてい都市国家という形をとったが，その後の古代国家の発展は，各地域世界で独自の動きをみせた。大河の治水や灌漑のために強大な権力が必要とされたオリエントと東アジアでは，はやくから都市国家が統合されて，中央集権的な領域国家，さらには古代帝国へと成長していった。中国の古代帝国は整然とした国家制度が特徴で，日本や朝鮮など周辺諸国と関係を取り結び，東アジア世界と内陸アジア世界を含む大きな政治的秩序を築きあげた。他方，東地中海に成立したギリシア文明では，市民の共同体である都市国家(ポリス)の独立性が強かった。平等な市民たちによる政治の伝統はローマにも引き継がれたが，征服の拡大とともに都市国家としての性格を変質させたローマ帝国は，地中海世界とその周辺を政治的に統合し，のちのヨーロッパ世界の母体となった。カースト制度という特有の階級制度を特徴とするインド世界でも，独自の古代帝国が成立した。東南アジア世界や内陸アジア世界は，インド世界や東アジア世界の古代帝国と密接な関連をもちながらも，なお独自の展開をみせていった。一方，これらユーラシア大陸の文明とは別に，アメリカ大陸の中部・南部にも独自の文明と帝国が形成された。

それぞれの章で学んだ内容を簡潔にまとめています。



シュメール人の神官の像 都市国家の神殿で発見されたもので，神に礼拝する姿を表現する。

宗教の誕生

宗教も古代文明ごとに独自の発展をみせた。それは，世界とはなにか，人はどのように生きるべきかといった普遍的な問題に指針を与えたが，同時に権力と結びつく場合も多く，その発展は古代国家の支配体制と深くつながっている。

オリエント文明には多神教がうまれ，最高神の権威による神権政治が支配のしくみを支えていた。他方，ギリシア文明の都市国家では，同じく多神教が信仰されながらも，政治を動かす主人公は神々ではなく，あくまで市民たちであった。ローマも多神教祭祀をおこなっていたが，やがて世界帝国となると，皇帝を神の一人として崇拝させた。パレスチナに誕生した一神教であるユダヤ教は，のちにキリスト教をうみだし，キリスト教はローマ帝国を支える国家宗教に発展した。インド世界では，バラモン教の世界観がのちのカースト制度の原型を形づくり，社会秩序の根本となった。ヒンドゥー教・ジャイナ教・仏教もここからうまれた。ヒンドゥー教がカースト制度と結びついてインド世界に統一性をもたらしたのに対し，仏教はインド世界では衰退し，むしろ東アジアや東南アジアにおいて興隆をみた。東アジア世界の政治的秩序を支えたもっとも重要な思想的背景は，古代中国にうまれた儒教である。儒教は家族道徳を社会秩序の根本におき，その礼と徳の思想は，中国の古代帝国における皇帝支配の論理として長く影響力を保った。他方，インド世界から伝来した仏教も中国や朝鮮，日本に根づき，時の権力と結びついて発展した。

各「まとめ」には「考えてみよう」をおいて，より深い内容の調べ学習等に対応できるようにしています。

考えてみよう

1. 最初の文明が形成された世界の諸地域には，どのような自然環境の特色があったか。地域世界ごとの特色を調べてみよう。
2. 古代帝国の中央集権的な支配秩序は，それぞれの地域世界の経済や社会のしくみとどのような関わりがあったのだろうか。
3. 各地域世界において出現した古代帝国は，それぞれどのような思想や宗教を支配秩序の根本においていたのだろうか。

2 アクティブラーニングなど主体的な学習にも対応

指導要領における主題の設定を考慮し，各部末尾に「主題学習」を設けました。

アクティブラーニングに向けた問いも充実しています。

第Ⅰ部 主題学習

時間軸からみる諸地域世界

歴史の探究は，まず時間軸にそって歴史的事実を整理するところから始まる。しかし，歴史はたんなる事実の羅列ではない。具体的な事実を，それがおこった順に整理し，そのなかからできごとのあいだの因果関係を探り，歴史の大きな流れを理解すること。これが，歴史を意味あるものとする作業なのである。

探究のポイント——歴史の流れを理解するために

- 何をとき明かすのか　歴史的事実は無限に存在する。そのなかから事実を取捨選択するためには，自分が歴史に何を問いかけたいのか，何をとき明かしたいのか，という課題をはっきりさせることが大事である。
- 年表をつくってみよう　世界史の資料集や概説書から，自分の問いかけに関係のありそうな事実を拾い集める。それらを時間軸にそって簡潔にまとめ，年表をつくってみよう。特定の年代がわからない「できごと」「事象」であっても，だいたいの順序がわかるようにならべてみる。
- 事実の因果関係を考えてみよう　年表をながめて，たんなる時間的前後関係だけではなく，「この事実がおこった原因はなにか」「どの事実とどの事実とが関連づけられるか」という因果関係を探る。
- 歴史の流れをつかんでみよう　事実をいくつかのグループにわけ，それらがなんらかの発展の段階を示していないか考えてみよう。あるいは，時代と時代の境目になる事実に注目するのもよい。最後に，一連の事実の大きな流れをつかみ，自分の問いに対する答えをみつける。

探究のポイント
歴史学習の基本技能を習得させるためのポイントを示しています。

課題
具体的事例をあげて，生徒が主体的に考察することができるよう配慮しています。

ローマ建国神話の牝狼が刻印された貨幣
建国者ロムルスが狼に養育されたとの伝説に基づく。

課題　**ローマ**——世界帝国への道

イタリア半島の一都市国家にすぎなかったローマは，やがて広大な領域を支配する世界帝国へと成長した。それ以前の古代帝国が成し遂げられなかった，オリエント・地中海世界の政治的統一を，ローマだけが達成できたのはなぜだろうか。また，その支配領域を維持するために，ローマはどのような変化をとげていったのか。世界帝国を築きあげるまでのローマの発展とその後の推移を年代順に整理し，そこにどのような因果関係や諸段階がみられるのか，探究してみよう。またローマの対外的な発展と国内問題とが，どのように関連づけられるのかも考えてみよう。

問　次のできごとを年代順に整理し，年表をつくってみよう。

十二表法の制定　アクティウムの海戦　スパルタクスの乱
護民官の設置　グラックス兄弟の改革　五賢帝の統治
帝国の全自由民にローマ市民権付与　カエサルのガリア遠征
ホルテンシウス法の制定　帝政の開始　キリスト教の公認
シチリアが初の属州となる　ディオクレティアヌス帝の即位

問　年表に整理したできごとをつぎの四つの段階にわけ，因果関係を考えてみよう。

- 共和政と身分闘争の時代
- ローマ社会の変化と内乱の1世紀の時代
- 元首政の時代
- 専制君主政の時代

［記入例］

年代	できごと	教科書で内容をチェック
前450頃	十二表法の制定	・前6世紀末共和政に→実質的支配は貴族 ・貴族が独占していた慣習法を成文化したことは平民の地位を向上 ・前367 リキニウス・セクスティウス法→コンスルの一人が平民に！
前287	ホルテンシウス法の制定	・平民会の決議が元老院の許可なく国法に！

共和政と身分闘争の…

ローマの重装歩兵
中小農民からなる兵士たちは地中海征服の主役であったが，彼らの没落は都市国家ローマの社会を変容させた。

トラヤヌス帝の記念柱　ダキア（今日のルーマニア）遠征の勝利を記念してトラヤヌスが建設させたもの。113年完成。高さは台座もふくめて35m。

史料や図版，グラフなど様々な補助資料で主題学習をサポートしています。

3 充実した内容，記述の刷新 新しい世界の動きを追加！

発展には，16世紀半ば以降東アジアに来航したキリスト教宣教師の活動も重要な役割をはたした。日本でのキリスト教普及の基礎を築いたイエズス会宣教師の**フランシスコ＝ザビエル**は，中国布教をめざしたが実現せず，その後**マテオ＝リッチ**（Matteo Ricci 1552～1610）らが16世紀末に中国にはいって布教をおこなった。キリスト教が庶民層にまで広まった日本と異なり，中国では，ヨーロッパの自然科学や軍事技術に関心をもつ士大夫層がキリスト教を受け入れた。リッチが作製した世界地図の「**坤輿万国全図**」は，中国に新しい地理知識を広め，日本などにも伝えられた。西洋暦法による『崇禎暦書』や「ユークリッド幾何学」の翻訳である『幾何原本』なども刊行された。

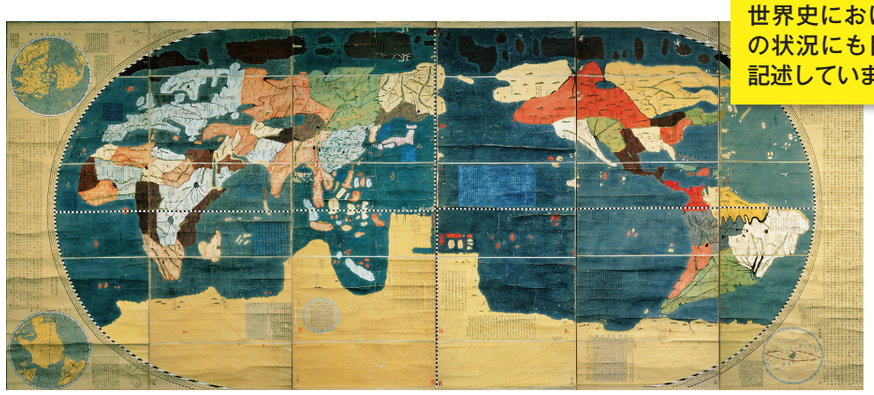
→ p. 213
→ p. 164
→ p. 39

16～17世紀の東アジアの状況

貿易の活発化や，新式の火器のヨーロッパからの伝来は，東アジアの各地で新興勢力の成長をうながした。日本では，織田信長（1534～82）・豊臣秀吉（1537～98）が南蛮貿易の利益を得つつ，新式の鉄砲をもちいて日本の統一をすすめた。**豊臣秀吉**はさらに領土の拡大をめざして朝鮮に侵攻した（日本では文禄・慶長の役，1592～98，朝鮮では壬辰・丁酉倭乱という）。しかし明の援軍や朝鮮の**李舜臣**（1545～98）が率いた水軍，民間

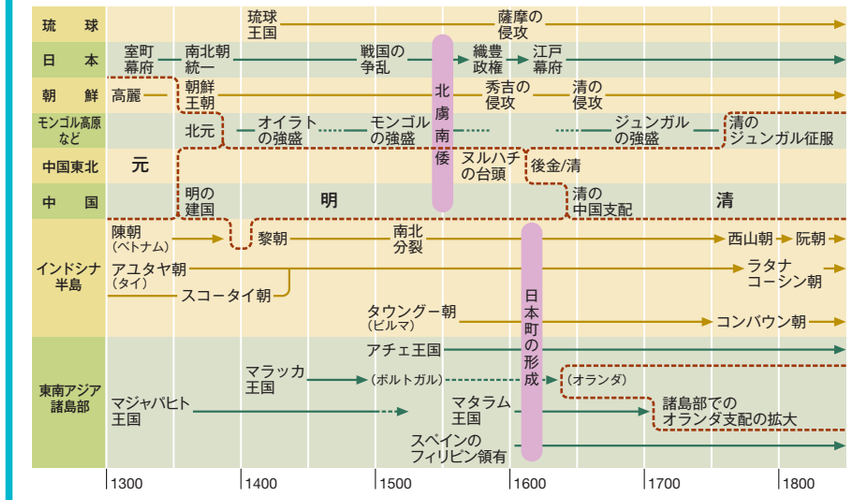
マテオ＝リッチ（左）**と徐光啓**　徐光啓はリッチに学び，西洋学術の導入につとめた。彼は『崇禎暦書』や『幾何原本』の編纂にも参加している。

「坤輿万国全図」　イエズス会の宣教師マテオ＝リッチが作製した中国最初の世界地図。1602年，北京。図は，江戸時代に仙台藩が模写したもの。



世界史における日本の状況にも目を配り記述しています。

本文の内容が複雑な場合や文化史を取り上げる際には，表などで見やすく整理しています。

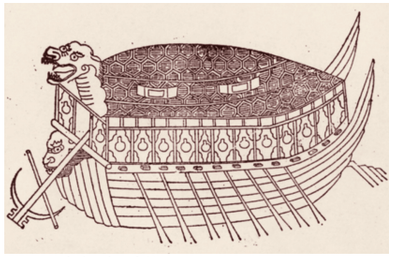


14～18世紀の東アジア・東南アジア諸国の変遷

の義兵などの抵抗をうけ，秀吉の死とともに日本軍は撤退した。秀吉の死後実権をにぎって江戸に幕府を開いた**徳川家康**（1542～1616）は，**朱印船貿易**を促進し，日本人は東南アジアの各地に進出して日本町をつくった。

日本と中国とのあいだの銀と生糸の貿易は，16世紀から17世紀にかけて大きな利益をあげたものであり，中国人や日本人・ポルトガル人・オランダ人などがその利益をめぐって争った。そのなかで，ポルトガル人が拠点とした**マカオ**❶，ついでオランダ人が拠点を築いた**台湾**など，あらたな貿易中心地が成長した。しかし江戸幕府は，幕府の統治の基礎を固めるため，キリスト教禁止や貿易統制を強化し，1630年代に日本人の海外渡航やポルトガル人の来航を禁じた（いわゆる「**鎖国**」❷）。

一方，中国の東北地方には，農牧・狩



朝鮮の亀船（亀甲船）　李舜臣の率いる朝鮮の水軍は，船体上面を亀の甲のようにおおった亀船をもちいて，日本軍に打撃を与えた。

❶ 19世紀末に正式にポルトガル植民地となったが，1999年に中国に返還された。
❷ 「鎖国」という語は，これらの政策がとられた当初からもちいられていたものではなく，19世紀初め，ヨーロッパ諸国の通商要求が高まるなかで，1630年代以来の対外関係統制策をあらわすものとしてもちいられるようになった。

写真は大きく，各ページに挿入するように努め，本文の理解を助けて興味を引き出すよう工夫しています。

カトリック教会の権威のもとにあった中世盛期の文化とくらべて，ルネサンスでは現世に生きる楽しみや理性・感情の活動がより重視されたが，これを支えたのが**ヒューマニズム**(humanism)，すなわち人文主義(人間主義)の思想である。人文主義の立場をとる知識人(ヒューマニスト)は，おもにビザンツ帝国❶やイスラーム圏を介して西ヨーロッパに伝えられたギリシア・ローマの古典文化を深く研究することで，人間らしい生き方を追求しようとした。また，フィレンツェの**マキァヴェリ**(Machiavelli 1469～1527)は『君主論』を書いて，政治を宗教・道徳から切り離す近代的な政治観を提示した。

→p. 150
→p. 36,49

ルネサンスは，地中海貿易の盛んなイタリアや，南北ヨーロッパ商業の中継地として毛織物工業が成長したネーデルラントではやくから展開したが，まもなくほかの国々にも広まった。ルネサンス期の学者や芸術家は都市に住む教養人で，その多くは権力者の保護のもとで活動した。イタリアでは，フィレンツェの金融財閥**メディチ家**やミラノ公，ローマ教皇などがルネサンスの保護者として知られ，イギリス・フランス・スペインでは国王の保護下にルネサンス文化が栄えた。そのため，ルネサンスは貴族的性格をおび，既存の政治・教会・社会体制を正面から批判する力とはならなかった。

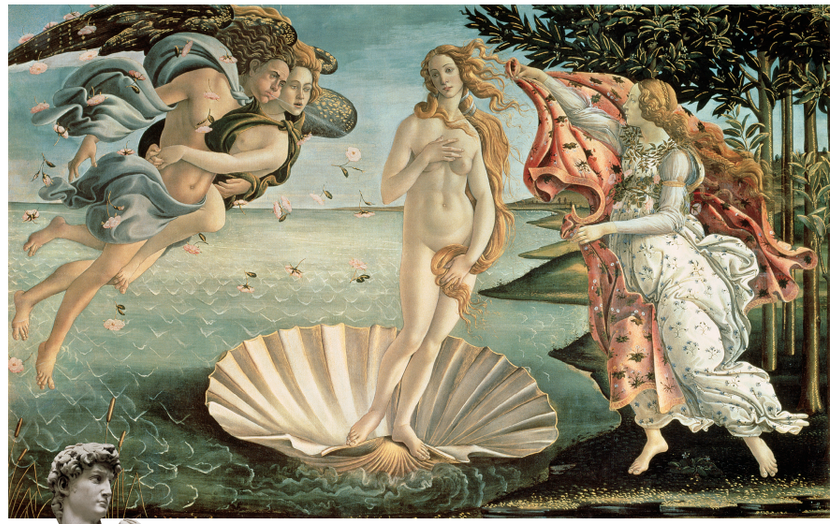
文芸と美術

ルネサンス文芸は，古代ローマの伝統が強かったイタリアでまず展開した。イタリアには，『神曲』で知られる詩人**ダンテ**(Dante 1265～1321)❷や**ボッカチオ**(Boccaccio 1313～75)らが出たが，その影響下にイギリスでも**チョーサー**(Chaucer 1340頃～1400)が『カンタベリ物語』を著した。16世紀頃になると，ネーデルラントの人文主義者**エラスムス**(Erasmus 1469頃～1536)の『愚神礼賛』をはじめ，社会を風刺する作品が多く書かれ，各国の国民文化が形成されていった。イギリスで16世紀末から17世紀初めに活躍した**シェークスピア**(Shakespeare 1564～1616)の戯曲をはじめとして，すぐれた文芸作品は，それぞれの国の言語を発達させるのに貢献した。

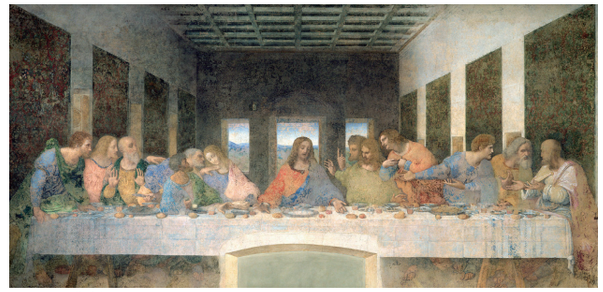
エラスムス　ドイツの画家ホルバインによって描かれた肖像画。ネーデルラントの人文主義者エラスムスはヨーロッパ各地を旅し，イギリスのトマス＝モアとも親交を結んだ。

❶　ビザンツ帝国の学者たちがオスマン帝国の脅威を前にイタリアに移ってギリシア語の知識を広めたことが，古典研究発展の一つのきっかけとなった。

❷　フィレンツェ生まれのダンテは，『神曲』をラテン語でなく口語(イタリアのトスカナ語)で書いた。



「ヴィーナスの誕生」　15世紀半ば，イタリアのフィレンツェでうまれたボッティチェリの代表作の一つ。メディチ家のために描かれたともいわれる。



「最後の晩餐」　レオナルド＝ダ＝ヴィンチ作。遠近法をたくみに利用した作品として有名である。

「ダヴィデ像」　ミケランジェロの彫刻作品の代表作の一つ。1504年完成。フィレンツェの市庁舎前におかれた。

絵画でもイタリアに新しい動きがおこり，15世紀前半には遠近法の確立により，近代絵画の基調である写実主義の基礎がすえられた。建築の領域では古代ローマ建築の要素を取り入れて，大ドームをもった**ルネサンス様式**がうまれ，16世紀にはローマの**サン＝ピエトロ大聖堂**が新築された。彫刻家では「ダヴィデ像」の制作者で，サン＝ピエトロ大聖堂の建築にも関わった**ミケランジェロ**(Michelangelo 1475～1564)が知られる。ルネサンスの理想であった「万能人」の典型とも

15章3・4節および16章の現代史部分は，地域ごとの流れをつかめる記述とし，全体の流れをわかりやすくしました。

メリカ大統領クリントン(Clinton 1946～ (在任1993～2001))を仲介として相互承認，パレスチナ人の暫定自治政府の樹立で合意した。しかし，1995年ラビン首相がユダヤ教急進派に暗殺されると，双方とも武力対決路線にたち戻った。

アジアでは少数民族問題による地域紛争が起きている。トルコ・イラン・イラクのクルド問題やカシミールをめぐるインド・パキスタン間の対立，スリランカでのシンハラ系多数派とタミル系少数派の内戦(2009年に終結)などが代表的であり，インドネシアでも2002年に東ティモールが分離，独立した。

同時多発テロと対テロ戦争

湾岸戦争後，ペルシア湾岸地域にアメリカ軍の駐留が続き，パレスチナ問題も未解決の状況下で，イスラーム急進派のなかでは反米感情が高まっていった。2001年9月11日，アメリカ合衆国の旅客機が乗っとられ，ニューヨークとワシントンのビルに突入する**同時多発テロ事件**がおこった。共和党のブッシュ(G.W.Bush 1946～ (在任2001～09))大統領は，**アフガニスタン**のターリバーン政権の保護下にあるイスラーム急進派組織アル＝カーイダが事件の実行者であるとして，同年10月，同盟国の支援のもとにアフガニスタンに対し軍事行動をおこし，ターリバーン政権を打倒した(**対テロ戦争**)。その後，アフガニスタンには国際連合の主導で暫定政権が成立し，国内復興につとめているが，治安の悪化は続いている。

同時多発テロで破壊される世界貿易センタービル　2001年9月11日，世界貿易センタービル(ニューヨーク)や国防総省(ワシントン)に航空機を突入させるテロ事件が発生した。この事件をきっかけに，アメリカ合衆国はアフガニスタン戦争やイラク戦争に突入した。

アメリカ合衆国はさらに2003年3月，フセイン政権が中東地域の脅威になっているとの理由で，イギリスとともにイラクを攻撃し(イラク戦争)，この政権を倒した。イラクは米英軍を中心にした占領統治下におかれ，日本も復興支援のため自衛隊を派遣した。04年6月，イラクの暫定政権に主権が委譲されたが，外国軍の駐留や暫定政権に対する反対が続いており，正常化への道はなおけわしい。

2010年末からは，チュニジア・リビア・エジプトで民主化運動がおこり，独裁政権が倒れたが，

最新の世界の動きについても記述を追加しています。

イスラーム宗教政党の台頭をまねいた。また，シリアでは内戦が発生し，多数の難民がうまれるとともに，国境を越える武装勢力が台頭した。

紛争解決・軍縮の試み

冷戦時代の国際連合は，米・ソが対立し，平和維持のための有効な役割を発揮できない場合が多かった。それに対して，冷戦終結後はロシアとアメリカ合衆国が協調する事例が増え，国連の役割が増大しはじめている。とくに，**地域紛争**後の**平和維持活動(PKO)**❶がその例であるが，派遣軍の指揮権や中立性の確保など多くの問題が残されている。

しかし，21世紀の世界ではさまざまな分野でグローバリゼーションが進行していくことはさけられないだけに，国際連合などの国際機関で諸国家の利害を調整し，平和的に紛争を解決していく努力は今後ますます重要になってくる。たとえば，核兵器の軍縮の場合，インド・パキスタン・北朝鮮など保有国が増加しており，核拡散防止条約の実効性を高める努力や，核兵器の制限や廃絶の交渉が必要になっている。2009年4月，アメリカ合衆国のオバマ(Obama 1961～ (在任2009～17))大統領が核兵器の廃絶を訴えたことをきっかけに，国際連合の場でも核軍縮交渉の動きが始まっている。また，通常兵器においても，1993年に化学兵器禁止条約が締結されたり，97年には対人地雷全面禁止条約が調印されたが，これらの条約成立には国際的な**非政府組織(NGO)**の活動が大きな役割をはたした。

期間	回数
1948～60年	5
1961～70年	5
1971～80年	3
1981～90年	5
1991～2000年	35
2001～10年	15

紛争地帯へのPKO派遣数

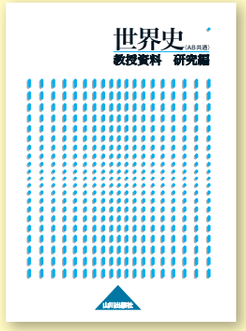
オバマ大統領のプラハでの核廃絶演説　この演説で，「アメリカは核兵器を使用した唯一の核保有国として，行動をおこす道義的責任がある」と語った。

❶ 国連の平和維持活動とは，国連加盟国から派遣された国連平和維持軍(PKF)などが紛争地域でおこなう停戦監視・兵力引き離し・選挙監視・人道支援などをさす。

詳説世界史のトータル　サポート　世B310準拠

教授資料 授業実践編・研究編

詳しくはp.20-21・72-73をご覧下さい。



授業の準備に板書例や導入，指導上の留意点をチェックできます。

教科書ソフト

詳しくはp.74-75をご覧下さい。

- 本文テキストデータ
- 地図データ
（すべての地図のカラーとモノクロをご用意）
- テストデータ

ICT

詳しくはp.76-77をご覧下さい。

世界史
デジタル教材集

世界史
NEWデジタル素材集

世界史
正誤問題データ集

DVD

授業で使える世界史映像集

ムービー世界史

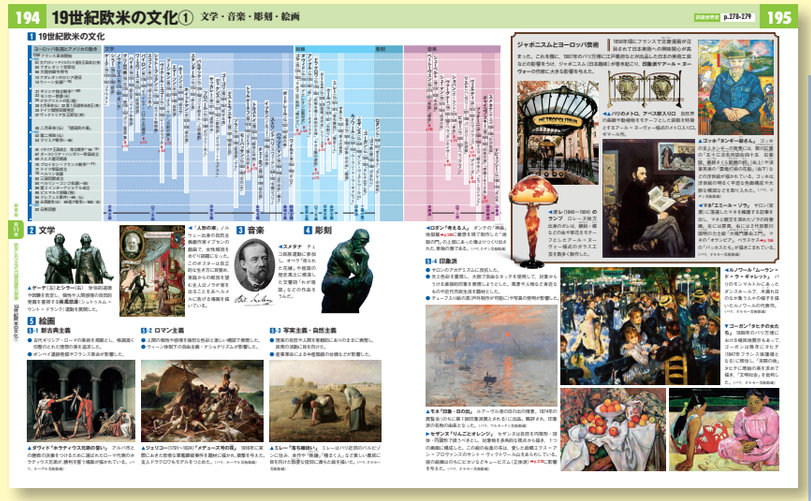
ニュースで見る世界史

準拠教材

書きこみ教科書
詳説世界史改訂版
→p.32

短期集中シリーズ
世界史テスト
本体350円(税別)

準拠図録



山川詳説世界史図録(第3版)
本体860円(税別)

『詳説世界史』と完全連動した『詳説世界史図録』も登場！！
教科書の配列にあわせ，各頁には参照頁もついています。

テスト問題集

詳説世界史改訂版
10分間テスト
（採用専売品）
→p.28-29

詳説世界史改訂版
スタンダードテスト
→p.30

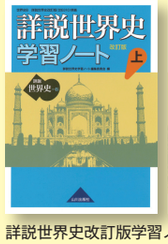
世界史総合テスト
Plusα改訂版
→p.31

合格へのトライ世界史B
マスター問題集改訂版
→p.33

準拠ノート

詳説世界史改訂版
ノート
→p.22-23

授業用 詳説世界史改訂版
整理ノート(採用専売品)
→p.24-25



詳説世界史改訂版学習ノート上・下
→p.26-27

詳説世界史 改訂版 教授資料 授業実践編

B5判・452頁　本体4000円（税別）

『詳説世界史 改訂版』を使った授業実践にご利用頂ける材料を盛り込みました。
授業前にご確認いただくのに非常に便利な1冊です。

❶授業の進行にあわせ133単元にまとめました。「世界史の扉」3単元＋「主題学習」4単元で140単元となります。『世界史教授資料 研究編』の該当ページも示しています。

4 東地中海世界の諸民族と古代オリエントの統一

（研究編p.18〜22）

導入

1．アルファベットがフェニキア人の作製した文字であることを指摘し，漢字との差異を考察させて関心を引く。
2．アウシュヴィッツ強制収容所や『アンネの日記』などを例にあげ，ユダヤ人の歴史への関心を引く。

❷導入　各単元の該当箇所には，授業の導入として生徒の関心を引き出すための具体的な事例を取り上げました。

板書例

❺東地中海世界の諸民族

(1)シリア・パレスチナ地方
　海陸交通の要衝…エジプトとメソポタミアの通路，地中海への出入り口
　活動した諸民族…セム語系カナーン人が交易で活躍（前1500年頃）
　→前13世紀頃，「海の民」の進出→セム語系3民族の活動開始
(2)**アラム人**
　前1200年頃〜**ダマスクス**を中心に内陸中継貿易で活躍
　アラム語…西アジアの国際商業語として普及
　→アラム文字…オリエント世界諸文字の源流：東方に多くの派生文字
　＊派生文字例…ヘブライ文字・アラビア文字・ソグド文字・モンゴル文字など
(3)**フェニキア人**
　シドン・ティルス等の都市国家→クレタ・ミケーネ文明衰退後の地中海貿易独占
　→北アフリカのカルタゴなど，多くの植民都市建設
　文化史上の功績…カナーン人の表音文字から線状のフェニキア文字を作製
　→ギリシア人に伝えて**アルファベット**の起源をつくる
(4)**ヘブライ人**（イスラエル人・ユダヤ人）
　遊牧民…前1500年頃パレスチナ定住→一部はエジプト移住：新王国の圧政
　→前13世紀頃，指導者**モーセ**に率いられパレスチナに脱出：**出エジプト**
　王国確立…前10世紀頃，**ダヴィデ王・ソロモン王**の繁栄→南北分裂
　北王国…イスラエル王国→アッシリアにより滅亡（前722年）
　南王国…ユダ王国→新バビロニアにより滅亡（前586年）
　→多数の住民がバビロンにつれ去られる：**バビロン捕囚**
　帰国後イェルサレムにヤハウェの神殿を再興…**ユダヤ教**確立
　ユダヤ教の特色：唯一神**ヤハウェ**への強固な信仰・選民思想：神の特別の恩恵／救世主**メシア**の出現待望　＊のちイエスが形式化を批判
　『**旧約聖書**』：ユダヤ教の教典…『新約聖書』とならぶキリスト教の教典へ／ヨーロッパの思想・芸術活動の源泉

❻古代オリエントの統一

(1)**アッシリア王国**
　成立…前2千年紀初め，北メソポタミアにおこり中継貿易で繁栄
　→前15世紀，一時ミタンニ王国に服属
　興隆…前7世紀前半，鉄製武器・戦車・騎兵隊→全オリエント征服：都ニネヴェ
　専制支配…国内を州にわけ駅伝制設置，総督の統治→重税と圧政：服属民の反抗
(2)4王国分立
　前612年，アッシリアの大帝国崩壊→4王国が分立
　4王国：**エジプト**，**リディア**：小アジア　＊リディア…世界初の鋳造貨幣作製／**新バビロニア**（カルデア）：メソポタミア，**メディア**：イラン高原
(3)**アケメネス朝**
　アケメネス朝…前6世紀中頃，イラン人（ペルシア人）のキュロス2世建国

❻指導上の留意点　授業展開の柱となる重要ポイントを取り上げました。各部の主題学習に対処するための自主的な学習に導く一助にもなります。

❺板書例　簡潔に示し，授業時間内に実際に板書していただける分量になっています。

指導上の留意点

1．特色あるセム語系3民族の活動を押さえる。なかでもユダヤ教の特色とその思想的影響の大きさを理解させる。
2．アッシリア王国の統治がオリエントの専制国家の特色をよくあらわしていることを指摘し，アケメネス朝ダレイオス1世の統治策との差異を理解させる。

解説　線状文字アルファベット

ラテン文字	A	B
古代ギリシア	Α	Β
フェニキア	𐤀	𐤁
起源となった名詞	*alp*	*bēt*
意味	牛	家

アルファベットは，シナイから，青銅器時代末期（前13〜12世紀）にレヴァント地方に伝わりました。各記号は元々の表語文字としての機能を失い，線状の文字へと姿を変えました。これが前1千年紀初めのフェニキアのアルファベットの起源となるのです。ヘブライ語，アラム語のアルファベットは，文字の形は次第に独自のものとなっていきましたが，その順序と文字の呼称はそのまま残りました。この頃から文章は右から左に読まれるようになります。これらの崩し字体（筆記体）は，しばしばパピルスや羊皮紙のような柔らかい材質のものに書かれました。石やオストラコン（陶片），粘土板に書かれた文書が長い年月に耐え，現在まで残っているのに対し，柔らかい素材は朽ちやすいために，大量に存在したはずのアルファベット表記の文書はほぼ完全に失われてしまったのでした。

フェニキア語のアルファベットとそれぞれの文字の呼称はギリシア人に受け継がれ，そして現代の我々にまで伝わっています。「アルファベット」という語自体，最初の二つの文字A：アルファalpha（起源は*alp*，「牛」を意味する），B：ベータbēta（起源は*bēt*，「家」を意味する）に由来しており，その起源を明らかに示しているのです。（ブリジット・リオン，セシル・ミシェル編『楔形文字をよむ』山川出版社より）

※研究編p.19「アルファベットの成立」参照

❸解説　用語の解説は基本的に『世界史教授資料 研究編』（→p.72）に記しています。また，教科書本文中で「研究編」で取り上げている用語は黄色マーカーで示しました。実践編独自の解説をつけている用語もあります。

ト・ヒッタイトの勢力が後退したのに乗じて，セム語系民族のアラム人・フェニキア人・ヘブライ人が活動を開始した。

シリアに多くの都市国家を建設したアラム人は，前1200年頃からダマスクスを中心に内陸都市を結ぶ中継貿易に活躍した。そのためアラム語が国際商業語として広く使われるようになり，アラム文字は楔形文字にかわってオリエント世界でもちいられる多くの文字の源流となった❶。

フェニキア人はシドン・ティルスなどの都市国家をつくり，クレタ・ミケーネ文明が衰えた後をうけて地中海貿易を独占し，また北アフリカのカルタゴをはじめとする多くの植民都市を建設した。フェニキア人の文化史上の功績は，カナーン人の使用した表音文字から線状のフェニキア文字をつくり，これをギリシア人に伝えて，アルファベットの起源をつくったことにある。

遊牧民であったヘブライ人❷は，前1500年頃パレスチナに定住し，その一部はエジプトに移住した。しかしエジプトでは新王国のファラオによる圧政に苦しみ，前13世紀頃に指導者モーセのもとパレスチナに脱出した（「出エジプト」）。ヘブライ人は統一王国の基礎を固め，前10世紀頃にはダヴィデ王とその子ソロモン王のもとに栄えていたが，ソロモン王の死後，国は北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂した。その後，イスラエル王国はアッシリアに滅ぼされ（前722年），ユダ王国も新バビロニアに征服されて，前586年，住民の多くはその都のバビロンにつれ去られた。これをバビロン捕囚という。

ヘブライ人は唯一の神ヤハウェへの信仰を固くまもり，やがてこの全能の神によりユダヤ人（ヘブライ人）は選民として特別の恩恵を与えられているという選民思想や，救世主（メシア）の出現を待望する信仰がうまれた。ユダヤ人は約50年後にバビロンから解放されて帰国すると，イェルサレムにヤハウェの神殿を再興し，ユダヤ教を確立した。しかし，やがてその信仰が形式化すると，これに新しい生命を吹き込んだのがイエスであった。ユダヤ教の教典「旧約聖書」は，イエスの教えを伝える『新約聖書』とならんでキリスト教の教典となり，のちのヨーロッパ人による思想・芸術活動の大きな源泉となった。

古代オリエントの統一

前2千年紀❶初めに北メソポタミアにおこったアッシリア王国は，小アジア方面との中継貿易によって栄えたが，前15世紀には一時ミタンニ王国に服属した。しかしその後独立を回復し，鉄製の武器と戦車・騎兵隊などをもちいて，前7世紀前半に全オリエントを征服した。強大な専制君主であったアッシリア王は，政治・軍事・宗教をみずから管理し，国内を州にわけ，駅伝制を設け，各地に総督をおいて統治した。しかしこの大帝国も，重税と圧政によって服属民の反抗をまねき，前612年には崩壊して，オリエント世界にはエジプト，小アジアのリディア❷，新バビロニア（カルデア），イラン高原のメディアの4王国が分立することになった。

※研究編p.22基本考察「イラン文化圏の形成」および「イランとペルシア」参照

前6世紀半ば，イラン人（ペルシア人）のキュロス2世がアケメネス朝をおこし，メディアとリディア王国を征服したのち，前539年にはバビロンを開城して，翌年ユダヤ人を捕囚から解放した。第3代のダレイオス1世は，西はエーゲ海北岸から東はインダス川にいたる大帝国を建設し，

アッシュルバニパル王の狩猟　アッシリア王の勇壮な狩りの様子を描いた石製の浮き彫り。アッシリアの首都ニネヴェから出土。

ベルシアの国道　アッシリアの成立期の領域　アッシリアの最大領域（前7世紀）
（「王の道」）　アケメネス朝の成立期の領域　アケメネス朝の最大領域

アッシリア・4王国・アケメネス朝の領域

❶ 前2千年紀とは，前2000〜前1001年のあいだをさす。前何千年紀という表現は，先史や古代において，はっきりした年代が不明な場合にもちいられることが多い。
❷ リディアでは，世界ではじめての金属貨幣がつくられた。

❹改訂版で変更した記述はピンクマーカーで示しています。

改訂のポイント

●ヘブライ王国・出エジプトの年代
　年代が歴史的に確定されたものではないため，「頃」を入れた表記に変更した。

❼改訂のポイント　改訂版で変更した記述はピンクマーカーで示し，とくに重要なところは，変更した理由や改訂のポイントを示しました。

図版　アッシュルバニパル王の狩猟

アッシリア美術は人面獣身の守護神像，征服戦争や宗教儀式の浮き彫りなどの石製の彫刻に特色がある。アッシュルバニパル王（在位前668〜前627）はニネヴェの壮麗な王宮に様々な浮き彫りを残したが，王は狩猟を好んだことでも知られ，本図版はその様子を表現した作品として有名なものである。闘技場に飼育されたライオンを馬上から弓を射たり，写真のように戦車から槍で倒す様子を扱った一連の浮き彫りは，アッシリア美術の水準の高さを示す好例である。ここには含まれていないが，ライオンの動きや表情の正確なとらえ方は「瀕死のライオン」などの傑作を生んでいる。ただし，ライオン狩りは一種の宗教儀礼であったとされ，倒されたライオンは神殿に奉納されていたと考えられている。これらの彫刻は現在は大英博物館のアッシリア室に所蔵され，博物館の見どころの一つとなっている。

❽図版　詳細な解説を加え，授業に役立てるよう配慮しています。
授業の参考になる史料・資料も取り上げています。史料の引用は表記もそのまま引用し，出典を明示しました。

地図　アッシリア・4王国・アケメネス朝の領域

アッシリアはアナトリアとメソポタミア・イランの交易ルートを押さえて繁栄の基盤を確立した。その成立期の領域から発展の理由を確認できよう。また，4王国で最強を誇った新バビロニアの領域が，オリエントで豊かな「肥沃な三日月地帯」と重なることも指摘できるだろう。そして，世界初の金属貨幣をつくったリディアがギリシアに近く，貨幣の普及とギリシアの発展の関連を考察させることも可能である。※研究編p.22「4王国の並立時代」参照

❾地図　どのようなところにポイントをおいて見るべきかを詳しく解説しています。

旧課程からの改訂のポイント

リディアの貨幣は，鋳造ではなく打刻貨幣であったことを考慮して，金属貨幣と表現することにした。

詳説世界史 改訂版 ノート 世B310準拠

B5判・224頁　本体900円(税別) 2色刷

授業はもちろん自宅学習にも最適！

世B310 詳説世界史 改訂版

第4章

イスラーム世界の形成と発展

1 イスラーム世界の形成 教100〜106頁

学習のポイント **イスラーム教成立の時代背景とその特色を理解しよう**

節の冒頭に「学習のポイント」を設け，おさえるべき**要点が把握**できるようにしました。

❶ イスラーム教の誕生

(1)**時代背景**

a アラブ人の生活…アラビア半島：砂漠が大部分

- 各地に点在するオアシスを中心とした遊牧・農業生活
- (　1　)による商業活動

b 東西交易路の変動…6世紀後半〜，(　2　)朝と(　3　)帝国の戦争状態

- 「オアシスの道」が両国国境で断絶
- ビザンツ帝国が支配してきた(　4　)貿易の衰退

→東西交易の商品…アラビア半島西部を経由するように変化

→(　5　)の大商人が国際的中継貿易を独占…莫大な利益

(2)**ムハンマド時代**

a 誕生とイスラーム教の創唱…(　6　)族の商人としてメッカに誕生

610年頃，唯一神(　7　)のことばを授けられた(　8　)と自覚

…偶像崇拝の多神教→厳格な一神教である**イスラーム教**をとなえる

b (　9　)(聖遷)…ムハンマドの移住

富の独占を批判するムハンマドをメッカの大商人が迫害

→
- 622年，少数の信者を率いて(　10　)に移住
- イスラーム教徒(ムスリム)共同体：(　11　)建設

＊622年7月16日＝イスラーム暦[太陰暦]元年1月1日

c メッカ征服…630年，多神教の神殿(　12　)をイスラーム教の聖殿化

アラブ諸部族，つぎつぎとムハンマドの支配下へ入る

→その権威のもとにアラビア半島のゆるやかな統一実現

(3)**聖典『コーラン』**

a『(　13　)』…ムハンマドにくだされた神のことばの集成

→(　14　)**語**で表記

b 教義の中心…アッラーへの絶対的服従：(　15　)

c おきて…信仰生活だけでなく，政治的・社会的・文化的活動全般に及ぶ

＊『旧約聖書』『新約聖書』…イスラーム教にさきだつ啓示の書とみなす

→ユダヤ・キリスト両教徒は「(　16　)」として信仰の自由を承認

(4)**六信五行**

後世の学者たちが，ムスリムの信仰と行為の内容を簡潔にまとめたもの

- 信(　17　)
- (1)神　(2)天使　(3)各種の啓典　(4)預言者たち　(5)来世　(6)神の予定
- (1)信仰告白　(2)礼拝　(3)喜捨　(4)(　19　)　(5)メッカ巡礼

見開き両脇を解答欄とし，繰り返し問題を解くことができるようにしました。

❷ イスラーム世界の成立

(1)**正統カリフ時代**(632〜661)

a **カリフ**(ハリーファ＝「(　20　)」のヨーロッパなまり)制度成立

ムハンマドの死→イスラーム教徒は共同体の指導者選出

→初代カリフに(　21　)選出

b アラブ人の征服活動((　22　)〈聖戦〉)開始

- 東方：(　23　)朝を征服…ニハーヴァンドの戦い
- 西方：(　24　)帝国からシリア・エジプト奪取

→アラブ人の征服地移住…征服地に建設された軍営都市：(　25　)

(2)**ウマイヤ朝時代**(661〜750)

a ウマイヤ朝の成立

カリフ権をめぐるイスラーム教徒間の対立激化

→第4代カリフ(　26　)暗殺される…初代〜4代のカリフ：(　27　)

→661年，シリア総督(　28　)，**ウマイヤ朝**を創始　都：(　29　)

b 宗派の発生と対立

- (　30　)**派**…ウマイヤ朝承認，ムハンマドの言行(スンナ)を生活の規範として共同体の統一を重視する多数派
- (　31　)**派**…アリーの子孫だけが共同体を指導する資格があると主張する少数派

c 征服の進展
- 東方：中央アジアの(　32　)・インド西部を征服
- 西方：北アフリカ征服→イベリア半島に進出：(　33　)王国征

→(　34　)**の戦い**(732)でフランク王国に敗北

→ピレネー山脈以南に撤退

(3)**アラブ帝国の成立**

a アラブ人の征服活動…広大なイスラーム世界の成立

→アラブ人
- 帝国の支配者集団形成…配下の異民族とは異なる特権保持
- 代表者である(　35　)の権限が強大化

b 征服地の先住民の負担

国家財政の基礎：地租〈(　36　)〉・人頭税〈(　37　)〉を課せられる

→イスラーム教に改宗しても実際には免除されず

❸ イスラーム帝国の形成

(1)**アッバース朝の成立**(750〜1258)

a ウマイヤ朝の政策への反発

- 征服地の新改宗者：(　38　)…信者の平等を説く『コーラン』の教えとみなして反発
- アラブ人の一部…ウマイヤ朝の排他的な支配を批判

→ムハンマドの叔父の子孫(　39　)家の革命運動に協力

→750年**アッバース朝**成立

b 第2代カリフ(　40　)…イラク平原の中心に円形の首都(　41　)造

→新帝国の基礎を固める

各章末に，「まとめ問題」を用意し，学習した内容を整理できるようにしました。

ノートをご採用いただきますと，**解答入りのPDFデータ**をサービスでお付けいたします。

CD

授業用 詳説世界史 改訂版 整理ノート 世B310準拠

B5判・256頁　本体800円(税別) 2色刷　教科書取扱店にてご注文ください。

授業向け板書タイプ！

第4章 イスラーム世界の形成と発展

1　イスラーム世界の形成　教100～106頁

❶ イスラーム教の誕生

(1) **イスラーム以前の西アジア**

a アラブ人の生活…アラビア半島で遊牧・農業生活，隊商による商業活動

b 東西交易路の変動…6世紀後半～，(1　　)朝と(2　　)帝国の戦争

→「オアシスの道」「海の道」途絶：新たな中継地(3　　)の繁栄

(2) **ムハンマドの生涯とイスラーム教の誕生**

570頃	**メッカ**に生まれる(クライシュ族の商人)
610頃	唯一神(4　　)の**預言者**として厳格な一神教**イスラーム教**を創始
622	メッカ大商人の迫害→**メディナ**移住：(5　　)(聖遷) イスラーム教徒(ムスリム)の共同体：**ウンマ**建設
630	メッカ無血入城→(6　　)をイスラーム教の聖殿に定める **ムハンマド**の権威のもとでアラビア半島のゆるやかな統一実現→632年没

(3) **聖典『コーラン』と六信五行**

a『**コーラン**』
- ムハンマドへの神の言葉の集成…(7　　)**語**で表記
- 教義の中心…アッラーへの「絶対的服従」：イスラーム
- 内容…信仰生活，政治的・社会的・文化的活動全般

b (8　　)…後世の学者たちがムスリムの信仰・行為の内容をまとめたもの

c『旧約聖書』『新約聖書』…イスラーム教にさきだつ啓示の書

→ユダヤ教徒・キリスト教徒…「(9　　)」：信仰の自由承認

❷ イスラーム世界の成立

(1) (10　　)**カリフ時代**(632～661)…初代アブー＝バクル～第4代(11　　)まで

a **カリフ**(「後継者」の意味)…ウンマの指導者：イスラーム教徒により選出

b アラブ人の征服活動：(12　　)(聖戦)

- 東方：(1　　)朝征服
- 西方：ビザンツ帝国からシリア・(13　　)を奪取

→アラブ人の征服地移住…征服地に軍営都市(14　　)を建設

c カリフ権をめぐる対立激化→第4代カリフ(11　　)暗殺

(2) **ウマイヤ朝時代**(661～750)

a シリア総督(15　　)，**ウマイヤ朝**創始，都：(16　　)

宗派の発生と対立

)**派**	多数派	ムハンマドの言行(スンナ)を生活の規範。共同体の統一重視
)**派**	少数派	**アリー**の子孫だけが共同体を指導する資格があると主張

の進展
- 東方：ソグディアナ・インド西部征服
- 西方：北アフリカ征服→イベリア半島進出…(19　　)王国征服(711)

→(20　　)**間の戦い**(732)でフランク王国に敗北

簡潔な**箇条書き**形式で**表**なども利用し，わかりやすく整理しています。

解答を直接書きこむ**空欄補充形式**です。

(3) **アラブ帝国の成立**

- アラブ人…帝国の支配者集団
  - 配下の異民族とは異なる特権保持
  - 代表者であるカリフの権限が強大化
- 征服地の先住民…地租〈(21　　)〉，人頭税〈(22　　)〉を負担→改宗者も免除されず

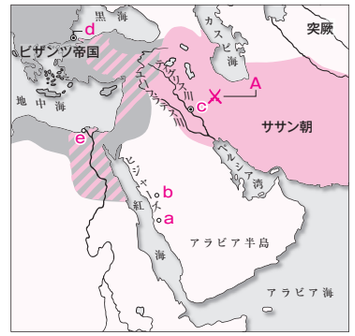
Check①

六信五行の内容

六信…(1)神　(2)天使　(3)各種の啓典　(4)預言者たち　(5)来世　(6)神の予定

五行…(1)信仰告白　(2)礼拝　(3)喜捨　(4)断食　(5)メッカ巡礼

問　次の地図を見て，Aの地名とa～eの都市名を答えなさい。



A＿＿＿＿＿＿

a＿＿＿＿＿＿

b＿＿＿＿＿＿

c＿＿＿＿＿＿

d＿＿＿＿＿＿

e＿＿＿＿＿＿

Checkでは**地図問題**などを取りあげ，さらに理解を深めます。

ノート欄を設け，自由に書きこみができるようにしました。

CD

ノートをご採用いただきますと，**解答入りのPDFデータ**をサービスでお付けいたします。

詳説世界史 改訂版 学習ノート 上・下 世B310準拠

B5判　上158頁・下166頁　本体各700円(税別)　2色刷

第11章 欧米における近代国民国家の発展

1 ウィーン体制の成立

1 ウィーン会議

(1)　(1　　)会議(1814～15)

ⓐ　目　的……フランス革命・ナポレオン戦争の戦後処理

ⓑ　参加者……オスマン帝国を除く全ヨーロッパの支配者

┌オーストリア([2　　]＝議長)・フランス([3　　])

└イギリス・プロイセン・ロシア([4　　])

ⓒ　会議の基本原則……(5　　)**主義**……仏外相タレーランの提唱

フランス革命前の王朝と旧制度の復活をめざす理念(革命前の状態への復帰)

ⓓ　利害の対立

「会議は踊る，されど進まず」→ ナポレオンのエルバ島脱出 → 妥協案成立

ⓔ　ウィーン議定書(1815) → ウィーン体制の成立

フランス	わずかな犠牲，ブルボン家の復位
ロシア	(6　　)**王国**創設――ツァーリ(ロシア皇帝)が王位兼任
プロイセン	領土拡大(ザクセン北半・ライン中流域)
イギリス	(7　　)(セイロン島)・(8　　)植民地獲得(オランダより)
オランダ	旧オーストリア領(9　　)(ベルギー)を獲得
オーストリア	**ロンバルディア・ヴェネツィア**獲得(イタリアより)
スイス	**永世中立国**へ
ドイツ	(10　　)の組織(35君主国と4自由市で構成)

(2)　**ウィーン体制**

ⓐ　保守主義の優位……**自由主義**と**国民主義**(ナショナリズム)の抑圧

┌列強体制の定着(列強の協議による)……**勢力均衡**と平和の維持

├国際秩序の支柱(2大強国)……イギリス(大海軍国)とロシア(大陸軍国)

└※パクス＝ブリタニカ(1815～1914)……イギリスの経済力と海軍力による平和

ⓑ　ウィーン体制維持のための機関 → 自由主義・国民主義運動の抑圧

┌(11　　)(1815)……ロシア皇帝[12　　]の提唱

│┌**キリスト教**の友愛精神にもとづく平和維持のための機関

│└ローマ教皇・イギリス・オスマン帝国を除くヨーロッパのほとんどの君主が参加

└(13　　)(1815)……のちフランスの加盟(→1818 五国同盟)

イギリス・プロイセン・オーストリア・ロシアの4カ国

2 ウィーン体制の動揺と七月革命

(1)　**自由主義・国民主義**(ナショナリズム)の運動……ウィーン体制により弾圧

ⓐ　(14　　)の運動(1815～19)……ドイツの学生組合

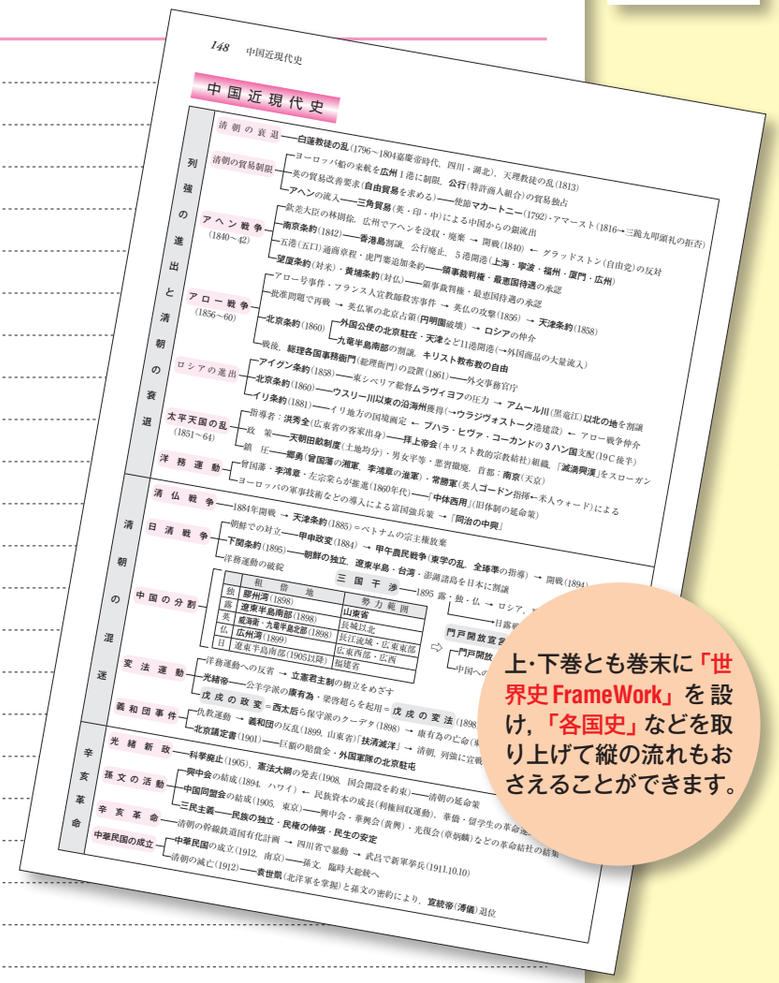
自由と統一を要求 → メッテルニヒのカールスバート決議(1819)により解散

『詳説世界史 改訂版』の要点をしっかりとおさえつつ，**より詳しい内容**も学ぶことができます。

従来のような右ページの解答欄に加えて，左ページの空欄にも直接書きこめるようにしました。

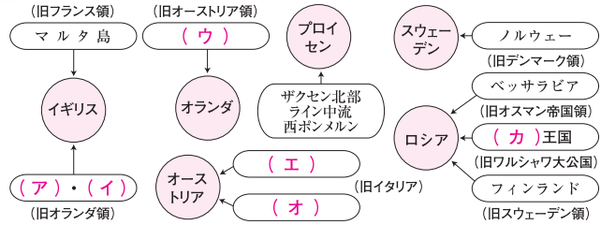
表なども利用し，わかりやすく説明しています。

1
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
2
14



上・下巻とも巻末に「**世界史 FrameWork**」を設け，「**各国史**」などを取り上げて縦の流れもおさえることができます。

設問　ウィーン議定書による領土変更について，空欄に適当な国名・地域名を記入せよ。



ア　(　　)
イ　(　　)
ウ　(　　)
エ　(　　)
オ　(　　)
カ　(　　)

右ページには，地図や図版・史料問題を必ず用意し，学習事項の再チェックができます。

詳説世界史準拠教材

詳説世界史改訂版10分間テスト

A5判・164頁　本体650円(税別)　2色刷　教科書取扱店にてご注文ください。

『詳説世界史　改訂版』の内容を81テーマで網羅！
表・裏2ページ＝1テーマ構成。オモテ頁の一問一答と
ウラ頁の発展問題で実力を定着！

世B310 詳説世界史 改訂版

表

詳説世界史 10分間テスト　4　第1章 オリエントと地中海世界❸
地中海世界の風土と人々～アテネとスパルタ　教 p.27～31

1　**地中海**一帯は一般的に雨が少ないため，とくにどのような作物の栽培に適しているか。
2　**クレタ文明**は広壮複雑な宮殿建築を特色とするが，その代表的遺跡はクレタ島のどこにあるか。
3　クレタ文明の遺跡を発掘した，イギリスの考古学者は誰か。
4　前2000年頃，北方から移住したギリシア人が，クレタやオリエントの影響を受けて形成した文明で，巨石で築いた堅固な城塞王宮を特徴とするものを何というか。
5　その遺跡を発掘することにより，上記4の文明の実在を証明したドイツ人は誰か。
6　上記4と同時期の，叙事詩『**イリアス**』の舞台となった小アジア北西岸の遺跡は何か。
7　クレタ文明や上記4に代表される青銅器文明を総称して，何というか。
8　前12世紀末頃，鉄器をもってギリシアに南下した，第2波のギリシア人を何というか。
9　ⓐ移動後のギリシア人は，方言の違いによって3つに分けられるが，**アテネ**を建てたギリシア人の一派を何というか。ⓑ同じく，**テーベ**を建てたギリシア人の一派を何というか。
10　前8世紀頃，多数の**ポリス**が成立するが，それらはどのような形態で形成されたか。
11　ギリシア人は前8世紀半ば頃から，地中海・黒海沿岸に**植民市**を建設するが，そのなかには現在なお栄えているものが多い。現在の**イスタンブル**の当時の名称を答えよ。
12　古代ギリシア人は一民族としての意識を失わず，自らを何と呼んだか。
13　彼らはまた，異民族を蔑視(べっし)して何と呼んだか(「わけのわからぬことばを話すもの」の意)。
14　中部ギリシアにあり，**アポロン**神殿の神託(しんたく)で名高い都市はどこか。
15　**ゼウス**神殿の所在地で，4年ごとに祭典と体育競技が挙行されたのはどこか。
16　ポリス中心部の，軍事拠点かつ宗教的中心であった丘を何というか。
17　交易・集会・裁判などがおこなわれた，その丘のふもとの公共広場を何というか。
18　**スパルタ**の被征服民で，農耕労働を強制された**奴隷**身分の農民を何というか。
19　参政権はもたないが，従軍の義務を負っていたスパルタの中間身分(商工業に従事)を何というか。
20　上記18の反乱を防ぐために制定された，スパルタの軍国主義的規律を何というか。

1	2	3
4	5	6
7	8	9 ⓐ
ⓑ	10	11
12	13	14
15	16	17
18	19	20

年　組　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿点

7

オモテ頁は
平均20問
の一問一答

重要用語は赤太文字で目立たせ，より発展的な問題には＊マークをつけるなど，さらに使いやすくなりました。

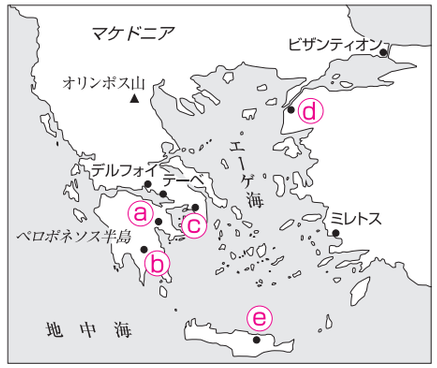
裏

advanced　／5点　4

ア　ミケーネ文明で使用された文字で，イギリスの建築家ヴェントリスが解読に成功したものを何というか。〔　　〕
イ　ミケーネ文明の代表的遺跡を，ミケーネ以外に1つあげよ。〔　　〕
ウ　ミケーネ文明崩壊後の400年間にわたる混乱時代を，何というか(この間にギリシアは**鉄器時代**に移行，初期鉄器時代とも呼ばれる)。〔　　〕
エ　ギリシア人が建設した植民市のうち，現在の**ナポリ**の当時の名称を答えよ。〔　　〕
オ　同じく，**マルセイユ**の当時の名称を答えよ。〔　　〕

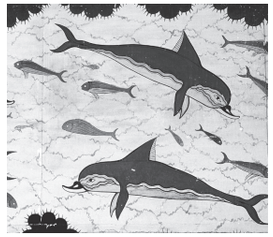
chart　／8点

▼次の①～⑤の都市・遺跡の正しい位置を，下の地図中のⓐ～ⓔのなかから選べ。



①　クレタ文明の代表的遺跡〔　　〕
②　ミケーネ文明の代表的遺跡〔　　〕
③　ミケーネ文明と同時期の，小アジアの代表的遺跡〔　　〕
④　アテネ(アッティカ地方の代表的ポリス)〔　　〕
⑤　スパルタ(ラコニア地方の代表的ポリス)〔　　〕

▼次の写真を見て，空欄に適当な語句を記入せよ。


〔　　〕**宮殿**内部
(壁画などに**海洋**生物を描写)

〔　　〕城塞の獅子門
(堅固な巨石城塞，戦闘的)

アテネの〔　　〕
(丘の上の中央は**パルテノン神殿**)

8

ウラ頁は
「advanced」(発展問題)
「chart」(図表問題)
で構成

CD

10分間テストをご採用いただきますと，問題文・解答のテキストデータおよび地図データ(jpeg)をサービスでお付けいたします。

詳説世界史改訂版スタンダードテスト

B5判・154頁　本体800円(税別)

教科書の整理・理解に役立ち，授業での併用や
自学自習にも適する標準レベルの問題集
72テーマで構成

世界史 B　世界史総合テスト Plus α　改訂版

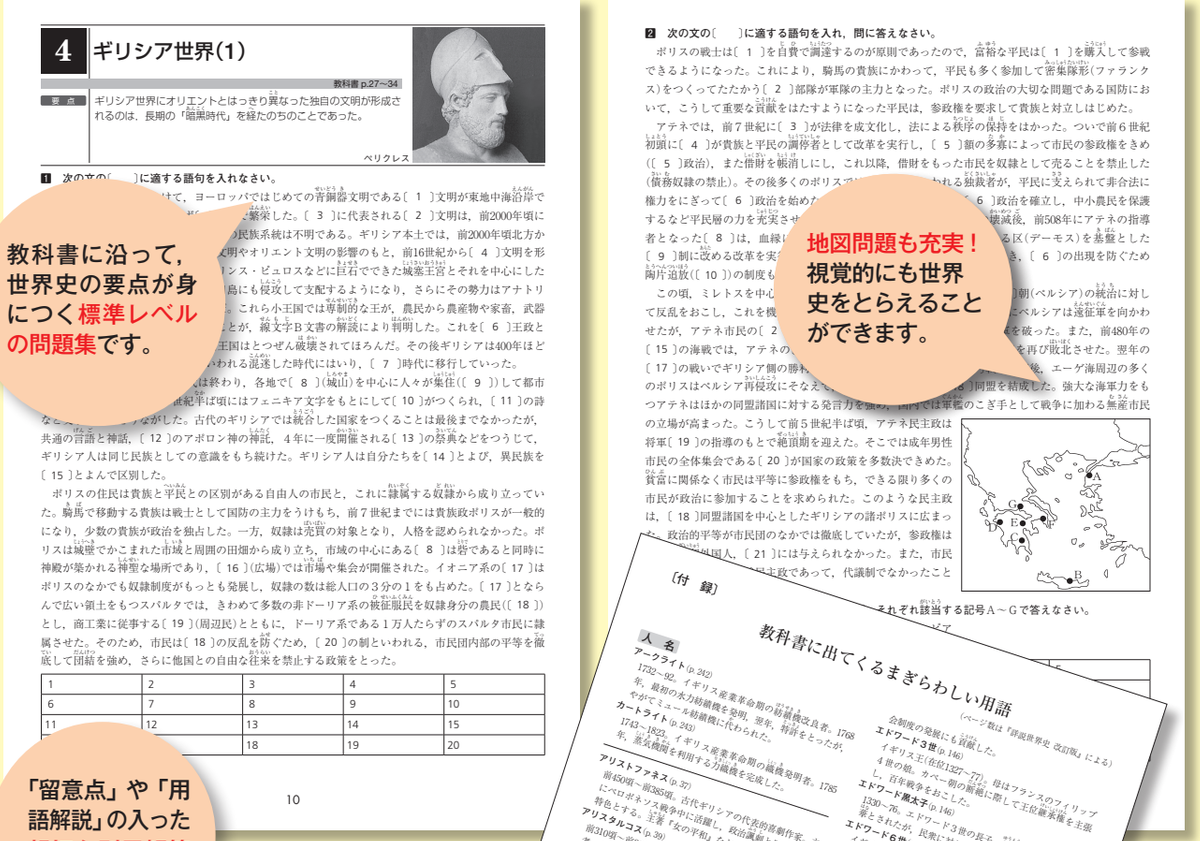
B5判・192頁　解答解説164頁　本体1000円(税別)　2色刷

『詳説世界史　改訂版』の章立てにもとづくハイレベルな問題集
60テーマと各部の総合問題12題で構成
別冊解説で詳細な解説も付す

世B310　詳説世界史　改訂版

教科書の本文に沿ったハイレベルな内容

大・小の論述問題にも対応



4　ギリシア世界(1)

教科書 p.27～34

要点　ギリシア世界にオリエントとはっきり異なった独自の文明が形成されるのは，長期の「暗黒時代」を経たのちのことであった。

ペリクレス

1　次の文の(　　)に適する語句を入れなさい。

…て，ヨーロッパではじめての青銅器文明である〔 1 〕文明が東地中海沿岸で…繁栄した。〔 3 〕に代表される〔 2 〕文明は，前2000年頃に…の民族系統は不明である。ギリシア本土では，前2000年頃北方から…文明やオリエント文明の影響のもと，前16世紀から〔 4 〕文明を形…ンス・ピュロスなどに巨石でできた城塞王宮とそれを中心にした…島にも侵攻して支配するようになり，さらにその勢力はアナトリ…。これら小王国では専制的な王が，農民から農産物や家畜，武器…とが，線文字B文書の解読により判明した。これを〔 6 〕王と…王国はとつぜん破壊されてほろんだ。その後ギリシアは400年ほど…いわれる混迷した時代にはいり，〔 7 〕時代に移行していった。

…は終わり，各地で〔 8 〕(城山)を中心に人々が集住(〔 9 〕)して都市…紀半ば頃にはフェニキア文字をもとにして〔 10 〕がつくられ，〔 11 〕の詩…ながした。古代のギリシアでは統合した国家をつくることは最後までなかったが，共通の言語と神話，〔 12 〕のアポロン神の神託，４年に一度開催される〔 13 〕の祭典などをつうじて，ギリシア人は同じ民族としての意識をもち続けた。ギリシア人は自分たちを〔 14 〕とよび，異民族を〔 15 〕とよんで区別した。

ポリスの住民は貴族と平民との区別がある自由人の市民と，これに隷属する奴隷から成り立っていた。騎馬で移動する貴族は戦士として国防の主力をうけもち，前７世紀までには貴族政ポリスが一般的になり，少数の貴族が政治を独占した。一方，奴隷は売買の対象となり，人格を認められなかった。ポリスは城壁でかこまれた市域と周囲の田畑から成り立ち，市域の中心にある〔 8 〕は神殿であると同時に神殿が築かれる神聖な場所であり，〔 16 〕(広場)では市場や集会が開催された。イオニア系の〔 17 〕はポリスのなかでも奴隷制度がもっとも発展し，奴隷の数は総人口の３分の１をも占めた。〔 17 〕とならんで広い領土をもつスパルタでは，きわめて多数の非ドーリア系の被征服民を奴隷身分の農民(〔 18 〕)とし，商工業に従事する〔 19 〕(周辺民)とともに，ドーリア系である１万人たらずのスパルタ市民に隷属させた。そのため，市民は〔 18 〕の反乱を防ぐため，〔 20 〕の制といわれる，市民団内部の平等を徹底して団結を強め，さらに他国との自由な往来を禁止する政策をとった。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
		18	19	20

10

教科書に沿って，世界史の要点が身につく標準レベルの問題集です。

「留意点」や「用語解説」の入った親切な別冊解答がつきます。

地図問題も充実！
視覚的にも世界史をとらえることができます。

2　次の文の(　　)に適する語句を入れ，問に答えなさい。

ポリスの戦士は〔 1 〕を自費で調達するのが原則であったので，富裕な平民は〔 1 〕を購入して参戦できるようになった。これにより，騎馬の貴族にかわって，平民も多く参加して密集隊形(ファランクス)をつくってたたかう〔 2 〕部隊が軍隊の主力となった。ポリスの政治の大切な問題である国防において，こうして重要な貢献をはたすようになった平民は，参政権を要求して貴族と対立しはじめた。

アテネでは，前７世紀に〔 3 〕が法律を成文化し，法による秩序の保持をはかった。ついで前６世紀初頭に〔 4 〕が貴族と平民の調停者として改革を実行し，〔 5 〕額の多寡によって市民の参政権をきめ(〔 5 〕政治)，また借財を帳消しにし，これ以降，借財をもった市民を奴隷として売ることを禁止した(債務奴隷の禁止)。その後多くのポリス…られる独裁者が，平民に支えられて非合法に権力をにぎって〔 6 〕政治を始め…〔 6 〕政治を確立し，中小農民を保護するなど平民層の力を充実させ…廃減後，前508年にアテネの指導者となった〔 8 〕は，血縁…る区(デーモス)を基盤とした〔 9 〕制に改める改革を実…，〔 6 〕の出現を防ぐため陶片追放(〔 10 〕)の制度も…

この頃，ミレトスを中心…朝(ペルシア)の統治に対して反乱をおこし，これを機…ペルシアでは遠征軍を向かわせたが，アテネ市民の〔 2 〕…を破った。また，前480年の〔 15 〕の海戦では，アテネの…を再び敗北させた。翌年の〔 17 〕の戦いでギリシア側の勝…後，エーゲ海周辺の多くのポリスはペルシア再侵攻にそなえ…同盟を結成した。強大な海軍力をもつアテネはほかの同盟諸国に対する発言力を強め，国内では軍艦のこぎ手として戦争に加わる無産市民の立場が高まった。こうして前５世紀半ば頃，アテネ民主政は将軍〔 19 〕の指導のもとで絶頂期を迎えた。そこでは成年男性市民の全体集会である〔 20 〕が国家の政策を多数決できめた。貧富に関係なく市民は平等に参政権をもち，できる限り多くの市民が政治に参加することを求められた。このような民主政は，〔 18 〕同盟諸国を中心としたギリシアの諸ポリスに広まった。政治的平等が市民団のなかでは徹底していたが，参政権は…国人，〔 21 〕には与えられなかった。また，市民…主政であって，代議制でなかったこと…

〔付　録〕

それぞれ該当する記号A～Gで答えなさい。

教科書に出てくるまぎらわしい用語

(ページ数は『詳説世界史 改訂版』による)

人　名

アークライト (p. 242)
1732～92。イギリス産業革命期の紡績機改良者。1768年，最初の水力紡績機を発明，翌年，特許をとったが，やがてミュール紡績機に代わられた。

カートライト (p. 243)
1743～1823。イギリス産業革命期の織機発明者。1785年，蒸気機関を利用する力織機を完成した。

アリストファネス (p. 37)
前450頃～前385頃。古代ギリシアの代表的喜劇作家。主にペロポネソス戦争中に活躍し，政治風刺と個人攻撃を特色とする。主著『女の平和』など。

アリスタルコス (p. 39)
前310頃～前230頃。ヘレニズム時代のギリシアの天文学者。地球は自転しながら太陽の周囲を公転すると説いた。

イブン＝ハルドゥーン (p. 118)
1332～1406。チュニス出身のイスラーム世界の代表的歴史家。『イバルの書』を著し，その第１部『世界史序説』では歴史発展の法則を述べている。

イブン＝シーナー (p. 118)
980～1037。イスラーム世界の医学者，哲学者。ラテン名は「アヴィケンナ」。その著『医学典範』は中世西欧で最も権威ある医学書とされた。

イブン＝シャトゥー (p. 118)
1126～98。コルドバに生まれ，ムワッヒド朝に仕えた哲学者。ラテン名はアヴェロエス。アリストテレスの著作の注釈は，中世西欧のアリストテレス研究のおもな典拠とされ，スコラ学の形成に大きな影響をあたえた。

イブン＝バットゥータ (p. 119, 174)
1304～68／69または77。モロッコの大旅行家。エジプト・西アジア・中央アジア・北および内陸アフリカなどを旅行し，『旅行記』(『三大陸周遊記』)を口述した。

エウリピデス (p. 37)
前485頃～前406頃。アイスキュロス・ソフォクレスとならぶ古三大悲劇詩人。『メディア』『アンドロマケ』などの作品がよく知られている。

エウクレイデス (p. 39)
前300頃の人。アレクサンドリアで活躍した数学者でユークリッド幾何学の創始者。その主著『幾何学原本』は歴史上で幾何学の標準的教本とされる。

カール１世 (p. 145)
フランク王国カロリング朝のイギリス王(在位1272～1307)。諸侯を整えて王権の強化を図り，模範議会を招集して議会制度の発展にも貢献した。

エドワード３世 (p. 146)
イギリス王(在位1327～77)。母はフランスのフィリップ４世の娘。カペー朝の断絶に際して王位継承権を主張し，百年戦争をおこした。

エドワード黒太子 (p. 146)
1330～76。エドワード３世の長子。勇猛で中世騎士道の華とされたが，民衆に対しては過酷であった。

エドワード６世 (p. 212)
イギリス王(在位1547～53)。彼の治世に一般祈禱書が制定されるなど，国教会のプロテスタント化を促進した。

グラックス兄弟 (p. 42)
兄ティベリウス(前162～前132)，弟ガイウス(前153～前121)。ローマ共和政末期，ともに護民官となって土地改革・自営農民保全をめざしたが失敗した。以後，ローマ社会は「内乱の１世紀」と呼ばれる，混乱の時代に突入した。

クラッスス (p. 43)
前115～前53。スパルタクスの反乱を鎮圧，第１回三頭政治に参加。パルティア遠征中に戦死した。

コシューシコ(コシチューシコ) (p. 231)
1746～1817。ポーランドの愛国者。アメリカ独立戦争に参加，帰国後自由主義的改革運動に入り，第２次ポーランド分割後に武装蜂起したが失敗した。

コシュート (p. 353)
1802～94。ハンガリーの愛国者。1848年の革命の時，急進的改革を指導したが失敗した。

コッホ (p. 280, 281)
1843～1910。ドイツの細菌学者。結核菌を発見，ツベルクリンを製造。

コッホ (p. 279)
1853～90。オランダの画家。フランスで活躍。代表作「ひまわり」。

司馬遷 (p. 82)
前２世紀頃の歴史家。紀伝体の歴史書『史記』を著した。

司馬光 (p. 164)
1019～86。宋(北宋)中期の政治家，歴史家。『資治通鑑』を著した。

ジャクソン(アンドリュー) (p. 274)
アメリカ合衆国第７代大統領(在任1829～37)。農民と都市小市民の立場を重視する民主政治をすすめた。いわゆる「猟官制度」の発展にも貢献した。

巻末には付録「教科書に出てくるまぎらわしい用語」を新設しました。

34　第Ⅰ部

第3章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成

12　草原の遊牧民とオアシスの定住民，北方民族の活動と中国の分裂

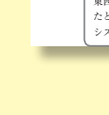
◎p. 77～87　◎p. 23～25

1　つぎの文の(　　)に適語を入れ，下線部①～④についての問いに答えよ。

世界最初の①騎馬遊牧民として知られる②スキタイは，前７世紀頃，南ロシアを拠点に活動し，しばしばオリエント世界へ侵入した。彼らの影響をうけ，前４世紀頃から内陸アジア東部でも騎馬遊牧民の活動が活発となるが，とくに陰山山脈によった匈奴は強力な遊牧国家を形成し，前３世紀末頃に即位した(　１　)の時代に最盛期を迎えた。乾燥地帯のなかでも，③雪どけ水による河川や地下水を利用できる中央アジアのオアシスでは，古くから定住民の生活が営まれていたが，(　１　)は④こうしたオアシスの都市国家群を支配下に入れ，さらには漢の(　２　)を自登山の戦いで破るなど強勢を誇った。しかしその死後，匈奴は漢の武帝の遠征をうけて衰退し，やがて東西に分裂した。後４世紀には，内陸アジアの草原地帯で遊牧民の活動が活発となり，鮮卑などいわゆる「五胡」の華北侵入と，ゲルマン人の大移動を引きおこした(　３　)人の西進とが，前後して始まった。その後モンゴル高原には，(　４　)・突厥・ウイグルなどの遊牧国家が出現することとなる。

問①　彼らについて述べた文として正しいものを，ア)～エ)からすべて選べ。
ア)彼らは，つねに地縁的な結びつきの集団を単位として活動していた。
イ)彼らは，機動性にすぐれた軍事力を有し，しばしば定住農耕地帯に侵入した。
ウ)彼らのつくった国家は急速に拡大・縮小，また分裂した。これは，その国家が民主的な統治システムを構成していたことに原因がある。
エ)彼らは，ユーラシア大陸の東西を結ぶ交易や文化交流にも貢献した。そのルートは「草原の道」と呼ばれる。

問②　スキタイ文化の代表的な遺物として正しいものを，下のA～Dからひとつ選べ。

A　
B　
C　
D　 

問③　こうしたオアシスで使用された人工の地下水路を何というか。

問④　右のオアシス都市国家ア)～ウ)の場所を，地図中ⓐ～ⓔからそれぞれ選べ。

ア)サマルカンド
イ)クチャ
ウ)カシュガル

1　2　3　4
①　ア)　イ)　ウ)

地図・図版問題も充実！

第3章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成　23

第3章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成

12　草原の遊牧民とオアシスの定住民，北方民族の活動と中国の分裂

本文 p. 34～36

1【解答】
1．冒頓単于　2．高祖(劉邦)　3．フン　4．柔然
問①イ・エ　問②A　問③カレーズ(カナート)　問④ア)ⓑ　イ)ⓓ　ウ)ⓒ

【解説】
1．冒頓単于の「単于」とは匈奴の指導者の称号である。テーマ10 **2** 1 の解説(⇒ p. 20)参照。冒頓単于の後の匈奴は，漢の武帝が派遣した将軍たちの攻撃をうけてゴビ砂漠の北方に追いやられ，東西に分裂した。西匈奴は漢の攻撃をうけて滅亡したが，東匈奴は漢に服属した。なお，**元帝「漢宮秋」のモチーフとなった王昭君のエピソードはこの頃の話である。**その後，中国の混乱に乗じて東匈奴は一時勢力を回復するが，内紛によって南北に分裂し，南匈奴は後漢に服属した。後世における五胡のひとつの匈奴は，この南匈奴の末裔である。　**3．４世紀に南ロシア草原に出現しヨーロッパに侵入したフン人は，北匈奴の末裔が西方に移動したものとする説が有力である**(テーマ16 **1** 1～4の解説(⇒ p. 34)も参照)。
問①ア)遊牧生活によってつねに移動している彼らに土地所有や地縁の概念はとぼしかった。**ウ)**彼らの国家は急速に拡大し，また急速に分裂したが，それは民主的な統治システムによるものではない。彼らは統率力のある指導者のもとで部族ごとに活動し，遊牧国家は部族の連合体としての性格が強かった(**こうした連合体をウルスと呼ぶ**)。**イ)**遊牧国家が急速に拡大し，解体するのも土地所有の概念にとぼしいためであった。**エ)**オアシス都市国家は連合することはなかった。こうした都市の支配権をめぐって騎馬遊牧民と中国などの農耕王朝が激しく争った。　**問②A**スキタイ美術として代表的な黄金の鹿飾り。**B**中国の殷代に製造された青銅器。**C**フェルガナで産出した**汗血馬**のブロンズ像。**漢の武帝がこうした名馬を欲し，将軍李広利をフェルガナに派遣している。D**正倉院宝庫に保管されているササン朝ペルシアの白瑠璃碗。　**問④ア)**サマルカンドは現在のウズベキスタン共和国第２の都市。中央アジアのソグディアナ地方にあるオアシス都市で，ソグド人の拠点として中国では康国の名で知られ，古くから東西交易の中心として繁栄した。1220年モンゴルによって徹底的に破壊され，住民の４分の３が殺されたという。その後再建され，ティムール朝の首都として繁栄した。**ⓐイリ。ⓑ**敦煌。ここに示したオアシス都市国家はオアシスの道(シルク＝ロード)の中継地として非常に重要な都市である。

解答解説は充実の164頁。問題それぞれを詳細に解説

書きこみ教科書　詳説世界史改訂版

A5判・314頁　本体900円(税別)　2色刷

勉強の基本は教科書！
『詳説世界史　改訂版』の文章を読み進めながら，
空欄に重要用語を書きこめる準拠教材

地図は従来のものよりも点数を大幅に増やしました。2色刷で大きく示しています。

解答欄は字数分を下線にし，より書きこみやすくなっています。

重要用語は解答番号の数字を白抜きで示しています。

解答は頁ごとに下段にまとめているため，答え合わせがスムーズにできます。

第10章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立

概観　第10章では，近代世界が本格的に成立する契機となった，18世紀後半の「❶　　革命」，すなわち産業革命と，アメリカ独立革命・フランス革命の時代を扱う。それらの革命をつうじて，欧米地域の外部世界に対する影響力はいちだんと強まった。

工業生産の様式を，　　した❷　　革命は，18世紀に広大な海外市場を　　におこった。産業革命は綿工業から始まって，　　の社会をうみだした。産業革命によって世界　　立を確実なものとした③　　に　　成に主導的役割をはたした。

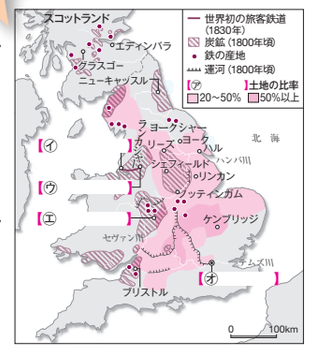
❹　　の独　　を表明して，イギリスからの独立を達成した。❺　　社会層の複雑ならみあいのなかで，旧制度を廃棄し，　　発言力をもたらした。❺　　革命で成立した共和政は❻　　の帝政へと移行したが，❺　　革命が広めた⑦　　の理念は，❻　　支配下のヨーロッパ大陸の各地で改革をうながした。アメリカとフランスの革命は，近代国家と近代市民社会の重要な原理を提起するものであった。

1　産業革命

世界最初の産業革命

工業中心の社会をうみだした産業革命は，まずイギリスでおこった。イギリスでは近世にはいって商工業が発達し，豊かな国内市場と有利な投資先を求める❶　　が用意されていた。また国家が②　　主義政策をとり，17世紀後半にオランダ，18世紀にフランスをおさえて広大な❸　　市場を確保した。他方，市場向け生産をめざす農業が発達し，産業革命期に急増する都市人口を支えた。大地主は中小農民の土地や村の共同地をあわせて大規模な農地をつくり(❹　　)，すすんだ技術をもった農業資本家にこれを貸し出して経営させた(❺　　)。土地を失った農民は，農業労働者や都市の工業労働者となった。さらにイギリスは，石炭・鉄などの❻　　にめぐまれ，また17世紀以来，自然科学と技術の進歩もめざましかった。

このような条件がととのっていたイギリスでは，新しい生産技術が発明されれば，これを応用して工業生産の拡大に役立てることができ，18世紀後半に世界最初の❼　　を経験することになったのである[ただし，1780～1801年になっても，イギリスの国民生産の年成長率は1.3%程度しかなかったとされている]。



地図　産業革命時代のイギリス

機械の発明と交通機関の改良

拡大する市場に向けての大量生産を可能にする技術革新は，まず❶　　工業の分野で，❷　　を中心に始まった。従来イギリスのおもな工業は毛織物業であったが，17世紀末には，③　　から輸入された，より軽い綿布の需要が高まった。綿布と，その原料である綿花は，大西洋の④　　貿易で重要な商品となり，①　　工業がイギリス国内に発達した。

1733年，❺　　によって飛び杼が発明されると，綿織物の生産量が急速に増えて綿糸が不足した。その結果，❻　　の多軸紡績機(ジェニー紡績機，1764年頃)，❼　　の水力紡績機(69年)，❽　　のミュール紡績機(79年)などがつぎつぎに発明され，良質の綿糸が大量に生産されるようになった。そこで再び織物機

解答　概観▶❶二重　❷産業　③イギリス　④アメリカ　❺フラン　　❻ナポレオン　⑦国民国家
世界最初の産業革命▶❶資本　②重商　③海外

解答　❹第２次囲い込み　❺農業革命　❻資源　❼産業革命
機械の発明と交通機関の改良▶❶綿　❷マンチェスター　③インド　④三角　❺ジョン＝ケイ　❻ハーグリーヴズ　❼アークライト　❽クロンプトン
地図　㋐囲い込まれた　㋑リヴァプール　㋒マンチェスター　㋓バーミンガム　㋔ロンドン

合格へのトライ　世界史Bマスター問題集　改訂版

B5判・184頁　本体840円(税別)　2色刷

世界史の基礎から大学入試までの内容をコンパクトにまとめた問題集
『詳説世界史　改訂版』の構成にほぼあわせた整理問題と，
地図・写真・論述などの発展問題で，世界史Bの内容を完全網羅

地図・図版問題も豊富に設けています。

教科書の流れに沿った詳細なリード文と整理問題

100字程度の小論述問題にも対応

最重要語句を穴埋めや整理問題で確認。それ以外の重要語句も赤・黒ゴチックで見やすく。

見開き両脇に解答欄を設けています。

第7章　アジア諸地域の繁栄

1　東アジア世界の動向

1　14世紀の東アジア／明初の政治

14世紀は，世界的な異常気象による経済収縮・混乱の中で，東アジア世界においても政治的な地殻変動が体感され始めた時代であった。中国では，元末の混乱の中から(1　　)がおこると，これに前後して各地で大規模な反乱が勃発した。この反乱の指導者の一人である貧農出身の[2　　](明の太祖)は，1368年に明朝を建て，長江下流域の要衝である(3　　)に都を定めた。この後，ⓐ皇帝一代を一つの元号で通す制度が採用されるようになったため，[2　　]はその…とって太祖[4　　]帝と称された。明は，モンゴルの残存勢力である…ンゴル高原へと追いやったが，これらモンゴル系の諸部族は，…辺を脅かす勢力となった。

一方日本では，鎌倉幕府が倒れて南北朝が対立し，政治の混乱…乱れて，倭寇の活動が活発化した。朝鮮半島では，倭寇の撃退に…[5　　]が高麗を倒して，1392年に王位につき，ⓑ朝鮮王朝をたてて…(現在のソウル)に都をおいた。

明を建国した[4　　]帝は，皇帝権力の強化をめざす制度改革をおこなった。…ず中央官制については，(7　　)を廃止して宰相をおかず，(8　　)を皇帝に直属させた。地方行政では村落行政組織である(9　　)を定め，ⓒ租税台帳や土地台帳を整備した。また軍制の面では，最高軍事機関の五軍都督府を設けるとともに，一般の民戸と区別して，ⓓ軍役に従事する軍戸をもって軍隊を編制する兵制を組織した。さらに**明律・明令**を制定し，ⓔ家族や郷村の秩序を守るべきとする儒教的な教訓を発布して社会の秩序を整えた。一方[4　　]帝は，政権の基盤が南方にあった明朝において手薄な北方統治を充実させるため，自分の息子たちのうち有力な者を北方の長城線に配置した。その中で，ⓕ北平を本拠とする燕王朱棣は，**1402年に第２代の建文帝**に対して挙兵し，首都を占領して帝位を奪った。この第３代皇帝である[10　　]帝は，皇帝独裁体制を強化し，事実上の宰相となる(11　　)に皇帝の政務を補佐させた。1421年には都を(12　　)に移し，モンゴル遠征など積極的な対外政策を推し進めていった。またムスリムの宦官[13　　]に命じ，艦隊を率いてインド洋からアフリカ東岸にまで至る数回の**南海遠征**をおこなわせ，南海諸国の明朝に対する朝貢を勧誘した。

問ⓐ　この制度を何というか。
問ⓑ　ア　**世宗**の時代に制定された表音文字は何か。
　　イ　世宗の時代には，ある技術の発達により多数の書籍が刊行されたが，その技術とは何か。
問ⓒ　租税台帳・土地台帳のことを，それぞれ何というか。順に答えよ。
問ⓓ　この兵制を何というか。
問ⓔ　この教訓を何というか。
問ⓕ　この王宝内の内紛を何というか。

現在残る長城は，おもに明代後期に修築されたものである。

challenge❶
15世紀前半に中国から東南アジア・インド洋方面へ派遣された船団の活動と目的について，それを命じた中国の皇帝と船団の指揮者の名前を挙げながら，100字以内で述べよ。

問ⓐ
イ
問ⓒ
問ⓓ
問ⓔ
問ⓕ

2　明朝の朝貢世界／朝貢体制の…

明朝では**倭寇**対策もあって，ⓐ民間人の海上交通や貿易が法令として禁止され，**朝貢貿易**に一本化しようとする政府の厳しい対外貿易管理政策がおこなわれた。**永楽帝**は，[1　　]に命じて大艦隊を南海に派遣した。大航海は７回にわたっておこなわれ，東南アジア諸国からアフリカ東海岸にまで達したが，この熱心な朝貢貿易振興策により，明に朝貢する国々は多数にのぼった。９世紀末の遣唐使停止以来途絶えていた，日本の朝貢貿易も復活した。この時期，室町幕府の将軍足利義満が日本国王に**冊封**され，倭寇の取締りを条件に(2　　)**貿易**に参加した。また15世紀初めに(3　　)王の尚氏によって統一された**琉球王国**(現在の沖縄)は，明との間に密接な朝貢関係を築き，**マラッカ王国**は[1　　]の**南海諸国遠征**を契機として，明の保護のもと東南アジアの交易拠点として急成長した。こ…に琉球とマラッカは，この時期の東アジア・東南アジア貿易の結節点とし…った。さらに明は，ⓑ朝鮮やベトナムの(4　　)朝との間に…朝鮮は明と冊封関係を結んで国際的な地位を確保し，内政…して社会秩序を整えた。一方，北方のモンゴル諸部族は…朝貢制度による回数や規模の制限を不満としてしば…紀半ばには西北モンゴルの**オイラト**が[5　　]のも…改して**正統帝**を捕らえた。この頃から明は対外的に守…改修してモンゴルの侵入にそなえた。

…世紀の東アジア・東南アジアの国際秩序を支えていた朝貢…壊した。東南アジアにおいては，1511年のポルトガルによるマ…占領は，マラッカ一極に集中する従来の交易ネットワークを大きく変化させた。この頃，スマトラ島北端の(7　　)王国やジャワ島の(8　　)王国，さらにはタイの(9　　)朝などが**港市国家**として成長した。一方東アジアにおいては，倭寇の活動が再び活発化し，ⓓ明朝は北方のモンゴル族の侵攻と倭寇の来襲とに苦しむことになった。

問ⓐ　このような対外政策を何というか。
問ⓑ　この国の高級官職を独占した政治・社会の特権階層を何というか。
問ⓒ　この事件を何というか。
問ⓓ　ア　このような明代中期以降の外患を何というか。
　　イ　**アルタン＝ハン**のもと，16世紀半ば以降しばしば明に侵入したモンゴル系部族を何というか。

3　明後期の社会と文化

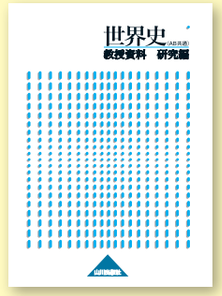
明代の中期には国内の開発が進み，農業・手工業・商業が急速に発達した。江南地方は穀倉地帯としてますます重要性を増したが，一方で商品作物の栽培もさかんとなり，長江下流域では綿花や桑の栽培もおこなわれた。そのため，米の生産地は「(1　　)**熟すれば天下足る**」と称されたように，長江中流域の(1　　)(湖北・湖南省)に移った。明代にも**里甲制**は存続し，小作料をめぐる**抗租運動**がしばしばおこった。また**景**…もさかんで，江西省の(2　　)では赤絵や染付などの陶磁器が生産され…要な輸出品となった。このような農業・手工業の発達は，水陸の交通路の…とあいまって商業をも発達させた。(3　　)**商人**や(4　　)**商人**…権商人が全国的に活動し，中国経済の発展に貢献した。

地図中のａ・ｂに適当な民族名を記入せよ。
a (　　)
b (　　)

世界史教授資料　研究編（世界史教科書共通）

B5判・498頁　本体6000円（税別）

山川出版社のすべての世界史教科書に共通してご使用いただけます。大きいテーマを扱う「基本考察」，各用語ごとの「用語解説」，その他「エピソード」「参考文献」を『詳説世界史』の配列にしたがって古代から現代まで網羅した，世界史の先生方に必携の一冊です。



3 中国の古典文明

基本考察 東アジアの風土と人々

東アジアは地球上最大の陸塊であるユーラシア大陸と最大の海洋である太平洋が接する所である。ただし，北アジア・東南アジア・中央アジアと重なり合う部分を持ち，地域的に限定することは容易ではない。そもそも地域は問題関心によって設定される一面を持つものであり，教科書に記す地域は，あくまで一つの歴史的なとらえ方であるにすぎない。つまり，「東アジア」という言葉そのものに明確な定義はないのであり，中国語にも東アジアに似た「東亜」という言葉はあるものの，その定義もまちまちである。にもかかわらず，日本の歴史学の世界でしばしば中国・朝鮮・日本・ベトナム北部を指して東アジアというのは，この地域が気候や風土に共通性を持つほか，文化的な共通点を多く有すると考えるからである。

中国の国土は広大であり，その風土も多様である。その地勢は，大局的に見れば西高東低をなしており，西南のチベット高原を最高部となし，その北と東に広がるタリム・ジュンガル・四川の諸盆地，モンゴル・黄土・雲貴の諸高原が第２段目を構成する。そしてその東方に広がる平野と丘陵からなる地域が第３段目をなす。今日の中国でしばしば経済格差の問題として，沿海部と内陸部が対比されるが，今日の中国の経済と文化をリードする沿海部とは，広くはこの東部の平野と丘陵からなる地域を指している。

中国では西高東低の地勢により，多くの河川は西から東へと流れて海に注ぐ。そして，これらの河川を境として，中国東部はさらにいくつかの地域に分けられる。北からいうと，渤海に注ぐ遼河を境とする遼東と遼西地域，黄河を境とする河北と河南地域，長江を境とする江北と江南地域，東南丘陵部を流れ台湾海峡に注ぐ閩江を境とすると閩北と閩南地域，珠江河口の広州を境とする広東と広西地域などである。

北は雨量が少なく乾燥しがちで寒気が厳しいのに対し，南は雨量も多く温暖湿潤である。「南船北馬」という表現もあるように，主として北では陸運，南では水運が用いられた。これは中国内地における北と南の自然条件の違いを反映している。秦嶺山脈と淮河を結ぶ線は，ほぼ1000mmの等雨量線と一致し，かつては小麦と水稲の作付けの境界線とされてきた。北ではアワ・コーリャン・麦・豆を中心とする黄土での畑作が主であり，牧畜も盛んである。一方南では水田耕作が主流であり，二期作が可能な地域もある。

中国の遼西地域の西には長白山（白頭山）脈が連なり，白頭山脈から黄海に鴨緑江が注ぐ。この白頭山と鴨緑江に隔てられて朝鮮半島がある。朝鮮は咸鏡山脈を頂点に北西へ緩斜面が広がる北部と，太白山脈を頂点に西側に広い緩斜面を形成する南部に大別される。気候は温帯に属するが，６～９月に全体の３分の２以上の降水がかたよっており，とくに冬の乾燥は厳しい。この気象条件の克服が長い間農業の課題であったが，朝鮮王朝時代には二毛作や米の連作が可能となるに至った。

朝鮮史を考える際よく強調されるのは，常に中国および北アジアの諸民族の圧力にさらされてきたことである。しかし，朝鮮の歴史や文化はそれらの影響によって他律的に形作られてきたのでは決してなく，むしろ東アジアの情勢に応じて，中国などの先進的な文化を取り入れつつそれに独自の内容を盛り込むことによって発展してきた。高麗で布かれていた郡県制が郡と県の関係や県の支配のあり方などの点で中国と全く異なっており，当時の社会状況を踏まえた独特なものであったことなどがその好例であろう。

また朝鮮と中国東北部が歴史的に密接な関係にあることも重要である。現在，朝鮮人は朝鮮半島だけでなく，白頭山北側の中国東北部にも多数居住している。朝鮮からは間島と呼ばれるこの地域に現在居住している朝鮮人は，日本による韓国併合以後に移り住んだ人々の子孫がほとんどであるが，朝鮮王朝時代にも移住は行われており，さらに遡れば朝鮮三国の一つに数えられる高句麗やその後裔たる渤海はここから現在の沿海州にかけての地域を支配していた。歴史的な意味での朝鮮は，現在の南北朝鮮の領域だけでなく中国東北部をも視野に入れて考える必要があろう。

一方，中国南部の広西地域は，雲貴高原を挟んでベトナム北部に連なる。気候的にはモンスーンの影響を受け，乾期と雨期に分かれる。雲貴高原からトンキン湾に注ぐホン河（紅河）の河口の平野部には早くから農耕文化や青銅器文化が発達した。紀元前４世紀頃に始まるドンソン文化は雲南やタイ東北部との交渉を通じて多くの文化的要素を取り入れた文化であった。ドンソン文化の銅鼓は，中国南部から東南アジア各地に広がっており，その影響が広くおよんだことを示している。

ベトナム北部の中心地であるハノイには，７世紀には唐の安南都護府がおかれ中国の直接統治を受けた。このため，かつては中国の長期支配から脱した10世紀以降の諸王朝も中国を模した王朝であったとする見方が強かった。しかし，今日では北部ベトナムの中国化は陳朝以後徐々に主体的に進んだと考えられるようになっている。

もともと北部ベトナムは中国と南方を結ぶ交易拠点であったが，15世紀以降大規模灌漑農業による農業発展をテコに海上交易の中心地の地位を得ていった。17世紀には中国沿海部都市の繁栄を受けて交易の時代を迎え，日本人町もあらわれるなど，東アジアの海上交易とも結びついていた。

中国と朝鮮の沿海には大小合わせて約8300余の島々があるといわれる。日本列島は，これらユーラシア大陸と太平洋の間に広がる島嶼部の東に位置する。日本は古くからこれらの島々を介して大陸と人やものの交流を行ってきた。例えば中世には，北海道・サハリンを経てユーラシア北部へ，また対馬・壱岐などを経て朝鮮・中国へ至る交通ルートができあがっており，日本列島各地の社会に大きな影響を与えていたことが知られている。さらに近代以降はアイヌや琉球人・朝鮮人をも含めて日本社会が構成されていることを忘れてはならない。

東アジアの文化的特徴としておもなものをあげれば，漢字と漢語の使用，儒教の浸透，律令の整備，漢訳仏典を通じた

基本考察は，各時代・地域の基本概念を，歴史学の進展に対応する情報や研究動向を含めて叙述しています。

興味あるエピソード，史話，史料などを挿入して生徒の関心を高め，授業をより効果的かつ変化のあるものとするための一助としました。

甲骨文字の発見　清末に至って殷墟から獣骨の断片が多数出土し，はじめ竜骨として薬用に供されていた。1899年劉鶚（鉄雲）が友人王懿栄の病気見舞にこの竜骨を持参し，はからずもそれに文字のあることを発見して蒐集に努め，その一部を記録して『鉄雲蔵亀』という書物を著した。いわゆる甲骨文の収集と研究とはこれからおおいに盛んとなり，孫詒讓・羅振玉など中国の学者をはじめ，日本の林泰輔もこれに参加し，解読に努力した。この結果，これが現存する中国最古の記録で，殷代の占トに用いられたものの遺品であることが明らかとなった。

単なる歴史用語の解説ではなく，ポイントを絞った解説，授業に役立つ内容，最近の研究成果の紹介などを記しています。

巻末には，各テーマごとに日本語で読むことのできる参考文献をあげました。

なった。しかし亀甲占いは，弥生時代・古墳時代の日本に伝わり，その名残りが対馬や宮中に伝わっている。

邑　中国古代社会における集落の総称。甲骨文字では，「邑」字は土地・区画を示す「口」と，ひざまずく人を示す形の組み合わせからなっており，人間の居住する所，集落をあらわす。邑は本来はたんに集落全般を指していたようだが，防衛の必要などから周囲に防壁をめぐらし，その外側に耕作地を有する集落が一般的となったため，とくに防壁をめぐらした集落を邑と解するに至った。このような邑は各地に散在しており，それぞれの邑内では，人々が血縁関係を紐帯として氏族共同体を形成し，邑の外側に広がる耕作地で農耕を行っていた。邑の規模は大小様々であり，大きな邑は，殷墟で知られる大邑商のように，軍事的圧力と宗教的権威をもって多くの邑を従属させ，一種の連合国家を築いていた。従来は，大邑―族邑―属邑の３層構造をなすと考えられてきたが，近年の考古学の発見などにより，王城である所の大邑（数百ha）―大族邑（数十ha）―小族邑（数ha）―属邑という４層構造が考えられるようになってきている。こうした点に注目して当時の国家を「邑制国家」と呼ぶ。

易姓革命　王朝交替には禅譲と放伐の二つの形式があるが，易姓革命という場合は，とくに放伐（暴虐を働くなどして徳を失った君主を武力によって打倒し，新しい王朝を建てること）を指す。殷の湯王が，暴虐無道であった夏の桀王を武力で追放し，かわって天子の位についたのがその始まりとされる。背景には，天下は有徳者が天命を受けて統治すべきものであり，もし徳が衰え民心が離反すれば，天命はいまの君主を去って別の有徳者に下る，という思想がある。このような思想は戦国時代の孟子によってはじめて理論化され，漢代の董仲舒が天人相関説を唱えるにおよんで完成の域に達したものである。

なお，禅譲は君主が生前に臣下の中でもっとも徳の高い者を後継者として指名し，平和裏に位を譲るというものであり，五帝の一人にあげられる堯が，その子息丹朱をさしおいて舜に位を譲ったのがその最初とされる。王朝交替のもっとも理想的な方法とされ，王莽がこの形をとって即位したのをはじめとして，魏の文帝以降，魏晋南北朝時代にさかんに行われた。しかしこれらの禅譲は，ほぼ全て政治軍事の実権を完全に掌握した有力者に強要されて行ったものであり，禅譲後に前王朝の皇族が殺戮されることも珍しくなかった。宋代以降，禅譲は行われていない。

封　建　周が殷を滅ぼした後，東方を支配するために行ったといわれる支配制度。周王は一族や功臣，地方の有力者に領地とその住民を支配させて諸侯とした（とくに軍事上の要地には一族中の有力者を封じた）。諸侯は公・侯・伯・子・男の五等爵に分けられ，爵位に応じた封土を受け，かわりに貢納・出陣などの義務を負った。これらの諸侯のもとには卿・大夫・士（臣下には大夫と士があり，大夫は上大夫と下大夫，士は上士・中士・下士に分かれる。このうち上大夫は卿ともいったので，一般に卿・大夫・士という）などと呼ばれる直属の臣下がおり，各々官職と土地（これを采邑といい，諸侯の直轄地を公邑という）を世襲した。以上が支配階級を構成するものであり，その下には被支配層である一般農民が，さらにその下に奴婢などの下層民がいたという。以上は『礼記』などに記されているものであるが，これが実際に周代に行われた支配制度であるとは考えられない。周王が諸侯へ分与したと見られる青銅器に鋳込まれた銘文（金文）の検討などからは，殷・周王朝が直接統治するのは限られた範囲のみであって，その外にある諸国に対しては，線的にのばした軍事拠点を確保して軍事的優位を保ちつつ，主として宗教的儀礼をとおして政治的関係を結び，殷王・周王を頂点とする連合を築いていたことが明らかにされている。ただし，金文の中には実際に周王が土地や人民や武器などを与えて支配を命じた封建の実例といえるものもあり，上述の封建は，周王朝のこのようなあり方をもとに，後世儒教的な理想を加えて描かれたものと考えられる。

このような殷・周王朝の体制のもとで，人々は氏族共同体を基本的な単位とし，まとまって生活していたと考えられる。農耕や祭祀・軍事などの活動も，この氏族共同体単位で行われていた。氏族共同体は単独で，あるいはいくつか集まって邑を構成した。『孟子』などは，周代の土地制度として，８家を１単位としてそれぞれに私田100畝を与え，中央に公田を設けて８家それぞれが10畝ずつ，計80畝を共同で耕作するという井田制が行われていたと伝えているが，これは後世の儒家の思想的産物であり，周代の実際とは考えにくい。

なお，近代以降，もともと周代の制度を指す語であった「封建」がフューダリズムの訳語として転用されたが，この場合の「封建」は主として領主階級内部の権力構造を問題としてレーン制の意味で用いられるか，あるいは領主対農民の支配隷属関係を問題として広義の農奴制の意味で（ただしヨーロッパではこの意味でフューダリズムの語を用いない），またイデオロギーや生活様式などをも含む一つの社会類型を指す言葉として用いられるものであり，氏族共同体を基盤とし宗教的儀礼によって結びついている周代の「封建」の指す意味内容とは本質的に異なる。

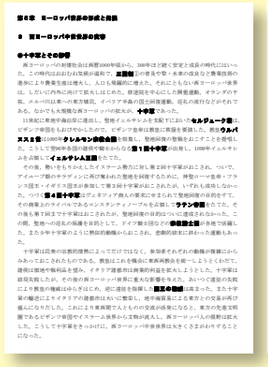
卿・大夫・士　東周以後，宗法的秩序を支えとする「封建」制下の周室による世襲諸侯に対する支配力は急速に衰えてい

教科書ソフト

教科書の本文や地図･図版といった教科書に掲載されているデータに加え，『教授資料 授業実践編』より板書例や解説，テストやプリント作成に役立つイラストや白地図，年表，準拠テスト例などの素材をCDに収録しました。さらに，操作方法などを説明した「教科書ソフト活用ガイド」も収録しております。

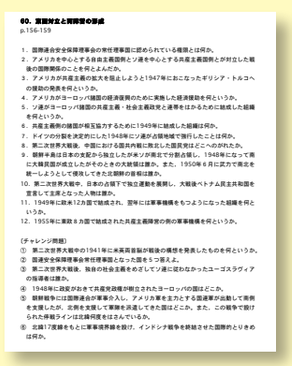
❶教科書データ Word

教科書の本文，注，写真キャプションといった文字情報のほか，地図や図版も収録しています。



❷準拠テスト例 Word

教科書準拠のテスト例を収録。Word 形式なので授業の進度に合わせて編集可能です。



❸地図・図版 JPEG

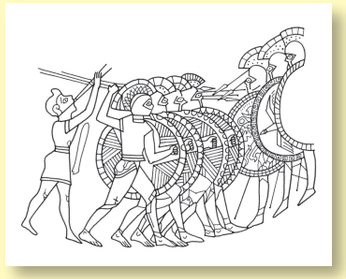
教科書に掲載されている地図や図版をすべて収録（写真除く）。地図はカラーだけでなくモノクロでも収録されているので，テストや授業プリントなどに貼りつけてご使用下さい。

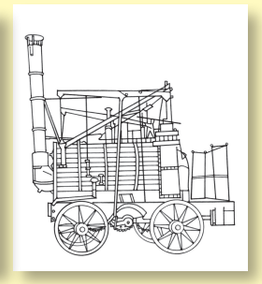
❹白地図 JPEG

各地域別の白地図を収録しています。

❺イラスト JPEG

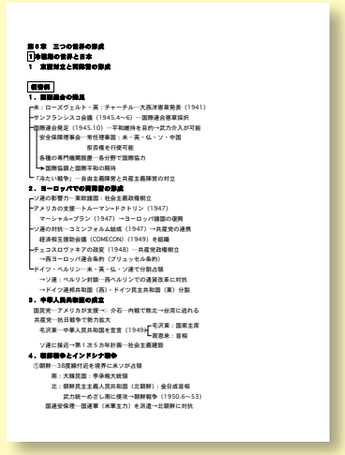
プリント作成などの際，ワンポイントで使える人物や建物等のイラストを多数収録。





❻板書例・発問例・用語解説 Word

『教授資料 授業実践編』より，板書例・解説などを収録。



❼史料 Word

『詳説世界史』の史料文など，15 種類を収録しています。

❽年表 Word

先史時代から現代までの年表を収録しています。

❾デジタルブック PDF

教科書のレイアウトをそのままに，デジタルブック（PDF）として収録しました。

❿山川外字フォント

世B310	世B313	世B314
詳説世界史 改訂版	**新世界史** 改訂版	**高校世界史** 改訂版
商品番号：72-034	商品番号：72-038	商品番号：72-037

本体価格：各9,000円(税別)

対応機種　Windows 10/8.1
対応ソフト　Microsoft Word 2013以上
対応ブラウザ　Internet Explorer Ver.11以上

山川のICTでつ なぐ+ふかまる

電子黒板・プロジェクター用

世界史デジタル指導書（世界史A・B共通）

本体38,000円（税別）　商品番号：86-074　※デジタル教材集とデジタル素材集のセット商品です。

山川デジタル指導書の特長

- 電子黒板やプロジェクターなどICT機器を使用した授業で使えるPowerPoint板書例を収録。
- 教科書・教授資料のデータやデジタル素材集などを活用してPowerPoint教材のカスタマイズが可能。
- 特典として，PowerPointの使い方を収録。教科書ソフト（別売り）やデジタル素材集とあわせて使うことでICT対応のオリジナル教材が容易に作成できる。

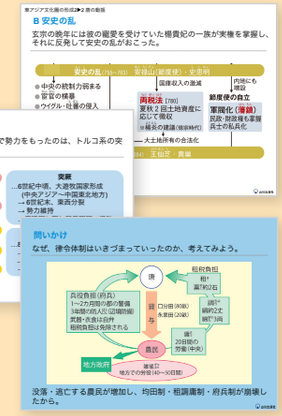
世界史デジタル教材集　※単体でもご購入できます。

本体18,000円（税別）　商品番号：86-076　※指導書扱いにつき，教科書取扱い書店にご注文ください。

デジタル素材活用の，あらゆる授業スタイルに対応！

3つのポイント
❶PowerPoint板書例（97のテーマ、約1100スライド）をご用意
❷短くまとめたエッセンスでポイントが一目瞭然
❸デジタルMAPや教授資料等の教材も充実

内容（世界史A・B共通）
①PDFデータ
・教科書改訂版6点
・教授資料『授業実践編』改訂版6点（詳説世界史〈世B310〉・新世界史〈世B313〉・高校世界史〈世B314〉・要説世界史〈世A318〉・現代の世界史〈世A315〉・世界の歴史〈世A316〉）
・世界史A・B共通教授資料「研究編」
②世界史A授業用PowerPoint教材66テーマ（約900スライド）
世界史B授業用PowerPoint教材97テーマ（約1200スライド）
③デジタルMap（11点）
④黒板投影用デジタル白地図
・特典（PowerPointの使い方）　1ランク上の「PowerPoint資料作成術」／PowerPointで鍛える歴史の「論理思考」



NEW 世界史デジタル素材集　※単体でもご購入できます。

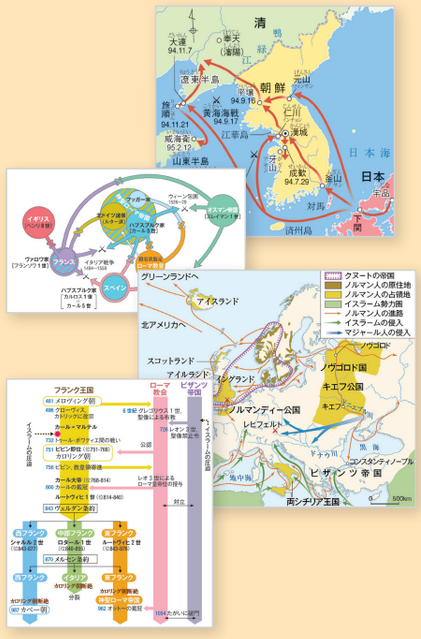
本体20,000円（税別）　商品番号：87-067

探していた素材がすぐ見つかる！すぐ使える！

3つのポイント
❶定評ある教科書と図録から，約2,100点を収録
❷教科書，キーワードなどから簡単に検索できる
❸画質の鮮明さにこだわり，遠くからでもよく見える

- 弊社発行の世界史教科書全6冊に加え，2冊の図録より，写真を除くすべての地図，系図，年表，グラフ，イラスト等の図版や資料を収録。
- 教科書の章立てだけでなく，キーワード検索が可能であり授業準備や授業中でもパソコンの画面上で簡単にセレクト・保存ができる。先生方のイメージする画像を使った授業を強力にサポート。
- パソコン画面上で拡大・縮小も簡単にでき，強調したい部分の投影も可能。
- 教室の後方からでも，十分鮮明な画像が得られる解像度。
- 画像データは，プリント作成にも使用可能。

世界史A・B共通
【教科書】世界史A：要説世界史（世A318）・現代の世界史（世A315）・世界の歴史（世A316）
世界史B：詳説世界史（世B310）・新世界史（世B313）・高校世界史（世B314）
【図録】詳説世界史図録／世界史図録ヒストリカ



パソコンソフト

世界史正誤問題データ集

先生用（Windows版CD-ROM）

本体25,000円（税別）　商品番号：86-070

おなじみの正誤問題集が最新バージョンで登場！

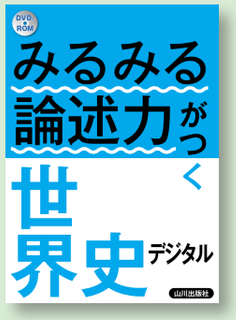
3つのポイント
❶かんたんな操作性を実現
❷利用シーンに応じた，オリジナル教材がつくれる
❸復習用の演習プリントのほか，実践的な入試対策としても使える

2015年までの大学入試に出題された過去7年間分の正誤問題を集めて収録。様々な条件での抽出はもちろん，詳説世界史（世B310）の章・節からの抽出やキーワードでの検索も可能。
※対応機種：Windows 8.1，10

みるみる論述力がつく世界史デジタル

本体20,000円（税別）　商品番号：86-080

論述問題の「解き方」を筋道立ててわかりやすく解説した生徒向けの論述問題集『みるみる論述力がつく世界史』をベースに400題以上の論述問題を収録したデータベース。



教科書『詳説世界史』の章・節からも問題抽出が可能
論述指導に便利な過去問データベース

デジタル地図

山川デジタル歴史地図

本体35,000円（税別）

商品番号：86-079

地歴科ご担当の先生に必携のデジタル歴史地図。世紀ごとの世界地図をメインMAPとし，そこから教科書や図録に収載の地図への切り替えが可能。描画ツールを使って書き込みもでき，白地図にも切り替えられる。

拡大縮小や表示範囲が自由自在！これからの歴史授業に必携のデジタルMap

電子黒板・プロジェクター用

授業用世界史A PowerPoint教材

本体3,600円（税別）　商品番号：86-081

世界史Aの配列に合わせて約70テーマで構成したPowerPoint教材。写真や地図・図版も多数収録。

1スライド=1メッセージで簡潔明瞭。カスタマイズ可能でオリジナルのPowerPoint教材作成にも便利

映像教材（DVD）

授業で使える世界史映像集 全3巻

映像でみる諸地域世界／映像でみる近代・現代（A・B共用）

監修　海上尚美・近江屋篤史・吉岡大輔　　分売本体各18,000円（税別）

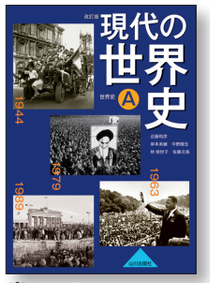
3つのポイント
❶世界史への興味・関心を引き出す映像
❷近代・現代を中心に映像や地図を豊富に収録
❸授業に役立つ解説書付で理解がもっとはかれる

世界史を映像で体感

1巻〈地理導入編〉　74項目（計約111分）商品番号：87-063
2巻〈序章～3章〉　39項目（計約41分）商品番号：87-064
3巻〈4章～7章〉　60項目（計約63分）商品番号：87-065

世界史ⒶⒷ
教科書一覧

Ⓐ



世A 315

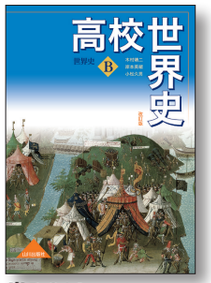
世A 316

世A 318

Ⓑ

世B 310

世B 313



世B 314

著作者・編集協力者

（2020年3月現在，五十音順）

青木 康（あおき・やすし）
立教大学特任教授

イギリス近代政治史
- 詳説世界史
- 高校世界史

今泉 博（いまいずみ・ひろし）
昭和学院秀英高等学校講師

世界史教育
- 詳説世界史
- 高校世界史

岸本 美緒（きしもと・みお）
お茶の水女子大学名誉教授

中国明清史
- 要説世界史
- 現代の世界史
- 詳説世界史
- 新世界史
- 高校世界史

佐藤 次高（さとう・つぎたか）
元東京大学教授／元早稲田大学教授

アラブ・イスラーム史
- 現代の世界史
- 詳説世界史
- 高校世界史

鳥越 泰彦（とりごえ・やすひこ）
元麻布高等学校教諭

世界史教育
- 現代の世界史
- 新世界史

南川 高志（みなみかわ・たかし）
京都大学教授

古代ローマ史
- 新世界史

木村 靖二（きむら・せいじ）
東京大学名誉教授

ドイツ近現代史
- 要説世界史
- 詳説世界史
- 高校世界史

澤野 理（さわの・おさむ）
神奈川県立逗子高等学校教諭

世界史教育
- 要説世界史

中野 隆生（なかの・たかお）
学習院大学教授

フランス近現代史
- 現代の世界史
- 世界の歴史

村上 衛（むらかみ・えい）
京都大学准教授

中国近代史
- 世界の歴史

小豆畑 和之（あずはた・かずゆき）
東京都立西高等学校教諭

世界史教育
- 世界の歴史
- 高校世界史

大津留 厚（おおつる・あつし）
神戸大学名誉教授

東欧近現代史
- 世界の歴史

日下部 公昭（くさかべ・こうしょう）
前筑波大学附属高等学校教諭

世界史教育
- 要説世界史

鈴木 孝（すずき・たかし）
前東京学芸大学附属高等学校教諭

世界史教育
- 要説世界史

橋場 弦（はしば・ゆづる）
東京大学教授

ギリシア古代史
- 詳説世界史
- 高校世界史

森本 一夫（もりもと・かずお）
東京大学教授

イスラーム史
- 世界の歴史

池田 嘉郎（いけだ・よしろう）
東京大学准教授

ロシア近代史
- 世界の歴史

小田中 直樹（おだなか・なおき）
東北大学教授

フランス近代史
- 新世界史

久保 文明（くぼ・ふみあき）
東京大学教授

アメリカ政治史
- 新世界史

高山 博（たかやま・ひろし）
東京大学教授

ヨーロッパ中世史
- 世界の歴史

羽田 正（はねだ・まさし）
東京大学特任教授

イスラーム史
- 世界の歴史
- 新世界史

油井 大三郎（ゆい・だいざぶろう）
一橋大学名誉教授／東京大学名誉教授

アメリカ現代史
- 詳説世界史
- 高校世界史

石井 栄二（いしい・えいじ）
東京都立国立高等学校教諭

世界史教育
- 詳説世界史
- 高校世界史

勝田 俊輔（かつた・しゅんすけ）
東京大学教授

アイルランド近代史
- 新世界史

小松 久男（こまつ・ひさお）
東京大学名誉教授

中央アジア近現代史
- 要説世界史
- 詳説世界史
- 高校世界史

千葉 敏之（ちば・としゆき）
東京外国語大学教授

ドイツ中世史
- 新世界史

林 佳世子（はやし・かよこ）
東京外国語大学教授

オスマン帝国史
- 現代の世界史

石橋 崇雄（いしばし・たかお）
東洋文庫研究員

中国清代史
- 世界の歴史

仮屋園 巖（かりやぞの・いわお）
東京都立国立高等学校教諭

世界史教育
- 要説世界史

近藤 和彦（こんどう・かずひこ）
東京大学名誉教授

イギリス近世・近代史
- 現代の世界史
- 世界の歴史

津野田 興一（つのだ・こういち）
東京都立日比谷高等学校教諭

世界史教育
- 要説世界史

水島 司（みずしま・つかさ）
東京大学名誉教授

南アジア史
- 詳説世界史
- 高校世界史